

|            |                          |                      |                          |                     |   |
|------------|--------------------------|----------------------|--------------------------|---------------------|---|
| 整理番号       | 293                      | 事業概要                 | 酒井立志県政報告書 Vol. 16 印刷、発行、 |                     |   |
| 使途項目       | 03_広聴広報費                 | 01_調査研究費<br>06_資料作成費 | 02_研修費<br>07_資料購入費       | 03_広聴広報費<br>08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費<br>09_事務費<br>05_会議費<br>10_人件費 |
| 内容         | 酒井立志県政報告書 Vol. 16 印刷、発行、 |                      |                          |                     |   |
| 上記事業に要した経費 | 経費の内容                    | 金額(円)                | 備考                       |                     |   |
|            | 県政報告書印刷代(折込料含む)          | 598,413              | 平田印刷株式会社                 |                     |   |
|            |                          |                      |                          |                     |   |
|            |                          |                      |                          |                     |   |
|            | 《合計》                     | 598,413              |                          |                     |   |

5/16

自由民主党富山県議会議員 領 収 書

No. 003794

酒井立志 様

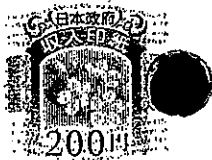
2022年 5月26日

¥598,413

但し 県政報告書 vol.16

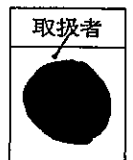
上記の金額正に領収いたしました

|   |       |          |
|---|-------|----------|
| 内 | 印刷物代金 | 386,060円 |
| 訳 | 消費税額  | 38,606円  |
|   | 折込立替  | 173,747円 |



平田印刷株式会社

本社・工場 高岡市 85番地  
TEL 0766-23-0061 FAX 0766-25-8242



收受 令和 4 年 7 月 1 日  
 決裁 令和 4 年 7 月 1 日  
 処理 令和 4 年 7 月 1 日

6 自由民主党富山県議会議員会 酒井立志 様

請求書

**平田印刷株式会社**

代表取締役 平田 一彌  
〒933-0014

富山県高岡市野村1485番地  
TEL:0766-23-0061 FAX:0766-25-8242  
北陸銀行 高岡支店 当座預金 1006880



| 納品日        | 伝票番号 | 担当 |
|------------|------|----|
| 2022/05/12 | 4924 |    |

毎度お引立て有難うございます。下記の通りご請求申し上げます。

| 受注番号    | 品名/規格                  | 数量        | 単位 | 単価     | 金額(税別)  | 立替金     |
|---------|------------------------|-----------|----|--------|---------|---------|
| 2206209 | 県政報告書 vol.16           | 19,900.00 | 部  | 19.400 | 386,060 |         |
| 2206208 | 折込立替 北日本 9,970枚×@10.67 |           |    |        |         | 106,380 |
| 2206208 | 折込立替 読売 3,710枚×@10.01  |           |    |        |         | 37,137  |
| 2206208 | 折込立替 富山 3,020枚×@10.01  |           |    |        |         | 30,230  |
|         |                        |           |    |        |         |         |
|         |                        |           |    |        |         |         |
|         |                        |           |    |        |         |         |
|         |                        |           |    |        |         |         |

|                   |    |               |               |                |               |
|-------------------|----|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 摘要<br>ご自宅用 3,200枚 | 合計 | 税別<br>386,060 | 消費税<br>38,606 | 立替金<br>173,747 | 総額<br>598,413 |
|-------------------|----|---------------|---------------|----------------|---------------|

6 自由民主党富山県議会議員会 酒井立志 様

納品書

**平田印刷株式会社**

代表取締役 平田 一彌  
〒933-0014

富山県高岡市野村1485番地  
TEL:0766-23-0061 FAX:0766-25-8242  
北陸銀行 高岡支店 当座預金 1006880

| 納品日        | 伝票番号 | 担当 |
|------------|------|----|
| 2022/05/12 | 4924 |    |

下記の通り納品致しました。ご検取下さい。

| 受注番号    | 品名/規格                  | 数量        | 単位 | 単価     | 金額(税別)  | 立替金     |
|---------|------------------------|-----------|----|--------|---------|---------|
| 2206209 | 県政報告書 vol.16           | 19,900.00 | 部  | 19.400 | 386,060 |         |
| 2206208 | 折込立替 北日本 9,970枚×@10.67 |           |    |        |         | 106,380 |
| 2206208 | 折込立替 読売 3,710枚×@10.01  |           |    |        |         | 37,137  |
| 2206208 | 折込立替 富山 3,020枚×@10.01  |           |    |        |         | 30,230  |
|         |                        |           |    |        |         |         |
|         |                        |           |    |        |         |         |
|         |                        |           |    |        |         |         |
|         |                        |           |    |        |         |         |

|                   |    |               |               |                |               |
|-------------------|----|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 摘要<br>ご自宅用 3,200枚 | 合計 | 税別<br>386,060 | 消費税<br>38,606 | 立替金<br>173,747 | 総額<br>598,413 |
|-------------------|----|---------------|---------------|----------------|---------------|

富山県議会議員 さかいたつし

# 酒井立志

県政報告書

発行者 自由民主党富山県議会議員会 酒井立志

Vol. 16  
令和4年3月発行

スクラム



## とやま呉西圏域 連携中枢都市圏の形成 環日本海の中核拠点へ

新年度がスタートして約1ヶ月が過ぎました。皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

県議会2月定例会は25日開会し、新田知事は提案理由説明で県内の新型コロナウイルス感染の状況について「新規感染者数が依然増加しているものの、その速度は鈍化している」と述べ、医療提供体制のひっ迫は見られないと指摘した一方で、学校や児童・高齢者福祉施設でクラスターが相次いでおり、県民に基本的な感染対策の徹底を呼びかけ、医療体制の整備に向けては入院病床や軽症者の宿泊療養施設を確保するとともに、医師の判断で自宅療養となった人が速やかに必要な診療を受けられる体制を充実させるとし、特に感染者の受け入れ態勢の確保や軽症者に対する健康観察などの療養支援に万全を期す考えを強調しています。

また、幸福度「ウェルビーイング」を向上させることに意欲を示し、主観的な幸福度を重視した『真の幸せ』ウェルビーイングを目指すことが、本県の社会・経済の活力をさらに高めていく」と強調しました。これには収入や健康といった価値だけでなく、自己実現や地域社会とのつながりなども含めた主観的な幸福度を重視する考えを説明し、県成長戦略に基づいて、産業政策の出発点となる人材の集積や市町村と連携した個性的なまちづくり「関係人口1千万人」の実現に向けたブランド力の強化など

に取り組むと述べました。

また、ロシアのウクライナ侵攻にも触れ「国際秩序の根幹を揺るがすものであり、国際平和を願う日本国民として、受け入れられるものではない」と非難。「国連を中心とした国際社会の連携による早期解決を強く願うとともに、県民生活に影響が及ぶことがないよう注視する」と述べました。

最終日は3月24日に本会議を再開し、ロシアのウクライナ侵攻を受け、新年度一般会計予算のうち、ロシア関連予算の執行凍結を求める付帯決議を全会一致で可決しました。付帯決議が行われるのは1996年6月定例会の「犬の危険防止条例」以来、約55年ぶりとなります。県は一般会計にロシア沿岸地方との友好提携30周年記念事業等を計上しているが、予算特別委員会の答弁で、事業を当面見合わせる考えを示しています。この日は令和4年度富山県一般会計予算6,333億円（過去2番目の規模）（令和3年度当初予算△3億円）と議案85件を可決したほか、請願1件を採択、意見書4件を可決し閉会いたしました。

私は、今定例会、予算特別委員会において ①児童相談所の強化について ②食育について ③子ども食堂について ④警察署の強化と再編計画について等、質問しましたのでご一読いただければ幸いです。

富山県議会議員 酒井 立志

1  
質問

## 児童相談所の強化について

**Q** 少年サポートセンターを警察署外に移転するとともに、学校、福祉などの関係機関と円滑に連携ができるよう、組織の縦割を超えた人材配置が必要と考えるが、どうか。

### A. 杉本警察本部長

県警察では、令和元年度から生活安全部少年女性安全課に少年サポートセンターを設置し、本部センター、富山中央警察署内の東部分室及び高岡警察署内の西部分室の3拠点で、少年の健全な育成を図る活動を行っている。

具体的には、少年に関する相談対応、非行防止・薬物乱用防止・ネットトラブル防止の各教室の開催、少年の非行防止やSNSに起因する子供の性被害防止のための広報啓発活動などである。

県警察としては、今後も児童相談所等の関係機関との連携を強化していきたいと考えており、少年サポートセンターの場所についても、時代の変化に応じ、少年サポートセンターの活動の活性化に資するのであれば、必ずしも警察施設内に設置されている必要はないものと認識している。



**Q** 関係機関との連携強化を図るため、新設する高岡児童相談所に、子どもに係る全機関を移転させ、ワンストップで対応する拠点、子ども総合相談センター（児童相談所）として立ち上げてはどうか。

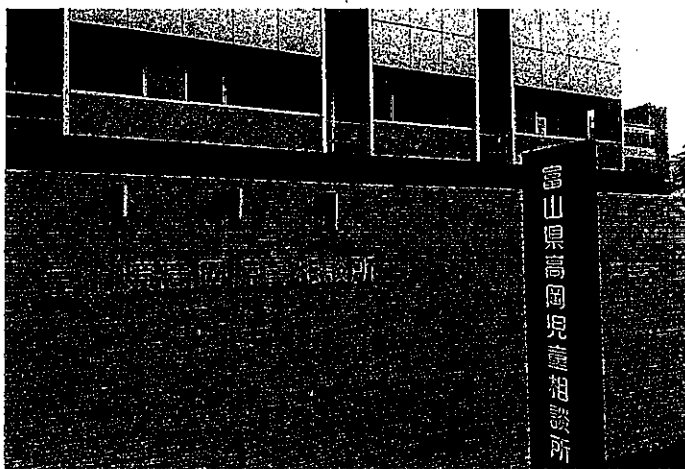
### A. 新田知事

高岡児童相談所の整備については、児童虐待防止対策・社会的養育推進計画検討委員会から、相談・判定機能の強化のための相談室、執務室等の拡充や、市町村支援や関係機関との連携強化のための会議・研修室の拡充、一

時保護所における児童の権利擁護に配慮した個室や男女別居室の整備、利用者のプライバシーへの配慮等のご意見をいただき、整備を進めている。

立地については、周辺が落ち着いた環境にあり、母子保健や精神福祉保健を担う県高岡厚生センターや、学校の生徒指導や教育相談を担う県教育委員会西部教育事務所と隣接しており、各機関との連携の強化を図れる環境にある。また、県警OBの要保護児童対応支援員も配置し、警察との連携も図っている。

今後、児童相談所への現職警察官の配置などに加え、市町村や関係機関との連携強化など、さらに検討を進めることとし、関係機関との連携を一層密にして、児童虐待対応に万全を期してまいりたい。



**Q** 関係機関の役割や対応を明確にし、連携強化を図るため、本県も児童虐待防止条例の制定を検討してはどうか。

### A. 新田知事

県では、子育て支援や少子化対策に関する施策を総合的に推進するため、平成21年6月に定めた「子育て支援・少子化対策条例」で、虐待をはじめとする子どもに対する人権侵害の未然防止や、子どもの権利や利益が最大限に尊重されること並びにその意見が適切に反映されることを明記しており、児童福祉法や児童虐待防止法の主旨を踏まえたものとなっている。

また、実務面では、県が作成した「富山県子ども虐待防止ハンドブック」を関係機関が共有し、各機関別の対応の流れや留意点、虐待の緊急度を判定するためのアセスメントシートなどについて共通理解を図り、関係機関が連携して児童虐待対応に取り組んできている。

「安心して子育てできる環境の整備」は公約として私が県民の皆様にお約束した大事な政策の1つである。施策の推進にあたっては、児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応など子どもの人権に関する基本理念に対する県民の理解を深めていくことが重要であり、児童相談所と関係機関等との連携を一層密にし、児童虐待対応に万全を期してまいりたい。

**Q** 国では、児童相談所における児童虐待相談対応件数の増加を踏まえ、児童福祉司、児童心理司をさらに増員し体制強化に取り組むとしているが、本県の対応状況はどうか。

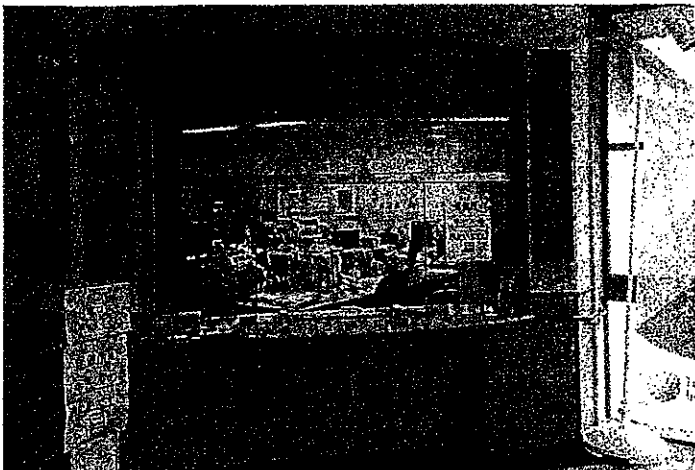
#### A. 木内厚生部長

国が平成30年12月に策定した「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」や令和元年6月の児童福祉法の改正により、児童福祉司や児童心理司等、人員体制の強化が図られた。

県では、これまでも法令に基づく標準配置基準を満たすよう、児童相談所の人員体制を強化してきており、来年度は児童福祉司を3人、児童心理司を1人増員することとしている。

なお、本年1月に児童虐待防止対策に関する関係府省庁連絡会議において、令和4年度における児童福祉司等の配置目標が示され、法令による一律的な配置ではないと伺っている。まずは、これまでの増員に伴う組織体制の整備や職員の資質向上に取り組むたいと考えている。

具体的には、来年度、富山・高岡の両児童相談所で、相談支援を担当する課を増設するほか、地域支援や人材育成を目的とする課を新設し、機能強化を図ることとしている。



**Q** 福岡県を視察した際、児童相談所職員のスキルアップのための予算を確保し研修を重ねていると伺ったが、本県における予算について、問う。

#### A. 木内厚生部長

児童相談所職員の資質向上は相談内容も複雑化している中で大変重要である。

このため、県では、児童相談所職員の中央研修専門機関への派遣や、虐待困難事例についての緊急度の判断からその後の相談や支援に至るまでのロールプレイも交えた実践的な研修等を行うなど、職員研修の充実により、専門性の強化を図ってきたところ。

こうした研修に加え、来年度は、市町村など関係機関の担当者を交えて、連携強化のための研修を行うこととしている。また、児童相談所に研修等の企画立案などの人材育成を所管する課を新設し、職員の専門性のさらなる向上を図ってまいりたい。

**Q** 増加する児童虐待への対応のため、児童相談所への現職警察官やOBの配置など人員体制の強化や警察を含めた関係者との迅速・的確な情報共有など、ソフト面での児童相談所の機能強化が重要であるが、富山児童相談所機能強化検討委員会での議論も踏まえ、どのように取り組むのか。

#### A. 新田知事

児童虐待の早期発見と早期の対応のためには、児童相談所と警察や市町村など関係機関との連携が重要である。特に、児童相談所と警察との間では、虐待案件の情報共有や、必要時の共同での安全確認のほか、児童相談所への警察官OBの配置、合同研修の実施などにより連携強化を図っている。

今年度設置した富山児童相談所機能強化検討委員会では、委員の皆様から、児童相談所と警察の一層の連携強化や児童相談所職員が身の危険を感じる場合の対応強化などのため、現職警察官の配置について検討が必要とのご意見をいただいた。

来年度は、機能強化検討委員会を発展的に改組した基本計画検討委員会を設置し、市町村や関係機関の利用者等を含め、さらに幅広くご意見を伺い、委員ご提案の児童相談所への現役及びOBの警察官の配置などの機能強化についてさらに検討したいと考えている。



## 2 質問

### 食育について

令和5年度食育推進全国大会では、食育の推進に向けて、本県の豊かな自然に育まれた多彩な食の魅力、文化を発信する絶好の機会と捉えているが、知事が誘致を決断した動機と成功に向けた意気込みについて、問う。

#### A. 新田知事

本県は、新鮮で美味しい海の幸、野の幸、山の幸の宝庫で、先人から受け継がれた豊かな食文化が根づいている。

年度内に策定予定の第4期計画では、県産食材と地域の食文化を活かした栄養バランスの良い「富山型食生活」のPRとその実践を促すため、子育て世代や一人暮らし等の多様なライフスタイルを意識した取り組みやすい食育を推進しようと考えている。

食育推進全国大会は、こうした本県の食育の取り組みを始め、多彩な食の魅力や豊かな食文化を全国へPRできる絶好の機会と考え、開催地に応募したものであり、令和5年度開催が決定されたことは、大変ありがたく嬉しく思っている。

新年度は、市町村や教育・学校給食の関係者、生産団体等からなる実行委員会を立ち上げ、大会の具体的な内容を検討していくこととしている。この大会開催で、健康で豊かな食生活を通じて県民のウェルビーイングの実現に結びつけるとともに、県外からも多数の来場者が見込まれることから、関係人口1,000万人、「幸せの先進地域、富山」を目指し全国に発信できるよう、関係の皆さんと知恵を出し合い、準備を進めてまいりたい。



来年度から第4期富山県食育推進計画がスタートするが、国が進める「みどりの食料システム戦略」やSDGsへの対応が重要と考えるが、取組みの柱について問う。

#### A. 横田副知事

国で策定された「みどりの食料システム戦略」は、持続可能な食料システムを生産者、事業者、消費者の理解と協働の上で実現しようとするもの。消費面では、生産者・消費者の相互理解の促進、持続可能な消費の拡大、栄養バランスに優れた日本型食生活の推進等が掲げられ、SDGsの目標の一つである「ゴール12 持続可能な生産消費形態を確保する」などの推進にもつながるものである。

この考え方やそのための具体策は、今年度内に策定予定の「第4期富山県食育推進計画」に盛り込んでいる。

来年度からは新たに、「富山型食生活」の家庭での実践に向け、多様なライフスタイルに対応した簡単レシピの普及、オンラインを活用した食育講座等の開催、健康寿命の延伸に向け、「低栄養傾向の高齢者の割合」を目標指標として設定し、フレイル予防などに取り組むなど、家庭、学校、地域それぞれにおける取組みを、市町村、生産・医療・給食・消費などの関係団体とともに推進していくこととしている。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



年度内の第4期富山県食育推進計画の策定や令和5年度食育推進全国大会の開催を機に、食育を進めていくため、市町村と連携し、県民運動として展開してはどうか。

#### A. 堀口農林水産部長

令和4年度にスタートする第4期食育推進計画策定後は、新計画のポイント等について市町村と方向性を共有

した上で、学校給食での県産食材の活用拡大を通じた地域の農林水産業や食文化への理解促進、地域の食生活改善推進員を講師とした食育教室や調理実習の実施など、連携して行うほか、市町村が独自で行う地場食材を活用した調理実習や地域の特長的な農林漁業体験等に支援するなど、計画に掲げる個々の施策を広く展開する。

また、食育推進全国大会では、県内市町村の特色ある食育の取組みに併せて、豊かな食材とそれを活かした郷土料理などを全国にアピールしていただく。

引き続き、市町村や関係団体等との連携・情報共有を図り、県民の皆さん一人ひとりが食育を実践する県民運動として展開してまいりたい。

## 3

質問

## 子ども食堂について

**Q** 行政の補完でなく、官とは異なる発想で民が公共を担うために独自に編み出した課題解決策といわれる子ども食堂の取組みが全国で広がっていることについて、どのように受け止めているか。

## A. 蔵堀副知事

こども食堂は、その多くが地域住民やボランティアを中心とする民間団体等により自主的に運営されており、食事の提供だけでなく、子どもの居場所づくりや見守りのほか、地域の交流の場としても非常に大きな役割を担っている。

昨年の12月に公表された認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえの調査によると、全国のこども食堂は6,007か所にまで増加しており、昨年よりも1,047か所増加した。本県においても、こども食堂の立ち上げを支援してきており、コロナの感染拡大により開催が困難な状況の中ではあるが、今年度に入ってから4か所増加している。

表面化しにくい貧困をはじめ、困難を抱える子どもに必要な支援に結び付けていくためには、地域住民やボランティアの皆様のご理解、ご協力が欠かせず、こども食堂の活動の広がりや、そうした皆様の熱意の表れであり、誠に意義深い。

県としても、これまで、こども食堂の立ち上げ経費助成、食品衛生指導、食事メニューの考案、食育活動への支援、

こども食堂開設予定者等向けの研修会の開催も行っている。

今後とも、生活に困窮する子育て家庭等への食事支援や子どもの居場所づくり、見守り活動といった子ども食堂の機能が地域において発揮されるよう、市町村や地域の自治会、子ども食堂の運営者の皆様などと連携し、県民のウェルビーイングが向上するよう取り組んでまいりたい。



**Q** 子ども食堂を広く普及するため、今後、先般の飲食店営業許可を不要とするなどの柔軟な対応が必要と考えるが、どう取り組むのか。

## A. 木内厚生部長

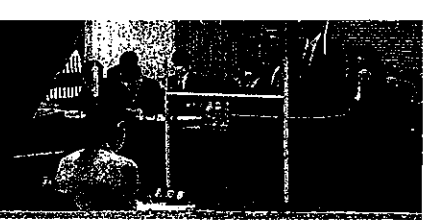
県では、これまで、市町村と連携してこども食堂開設等を支援してきた。具体的には、こども食堂の立ち上げ経費の助成を行うほか、開設予定者向けの研修会開催やネットワークの運営などを行ってきた。

また、委員からご紹介のあったとおり、本年1月には、食品衛生法に基づく営業許可の取扱いを見直し、福祉目的で、対象者が限定されている場合には、食品衛生責任者の設置等は求めるが、手数料は不要な「届出制」とした。これは、一定の衛生水準を確保しつつ、こども食堂の開設に配慮したものである。

県では、この新たな取り扱いについて、県内のこども食堂や、今後立ち上げを予定する方等への情報提供に努める。また、新年度はさらに、ホームページで県内のこども食堂の取組みを広く発信し、地域での子どもの居場所づくりや見守りなど、こども食堂の意義について浸透を図り、県内におけるこども食堂の普及につなげたいと考えている。

引き続き、こども食堂の普及につながるよう、取り組んでまいりたい。





## 4

質問

### 小学校35人学級への支援について



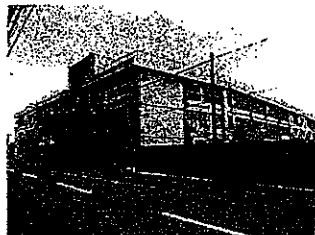
小学校35人学級の先行実施に伴い、県内市町村において、一部学校で教室不足が見込まれており、転用可能な特別教室の改修、教室の増築などによる追加の財政負担が発生する場合には、市町村に対して財政支援すべきと考えるが、所見を問う。

#### A. 新田知事

学校の改修や増築の費用負担については、市町村に対する国庫補助制度や地方債などの有利な財源措置があることなどから、これまでと同様に設置者の市町村において、国の補助制度を活用して整備していただきたい。

なお、県では、国への令和4年度重要要望などにおいて、少人数学級の推進のための教育環境整備の支援を強く求めてきたところ、文科省では来年度から、改修等の補助下限額を2,000万円から400万円に引下げられた。学級数の確保のための小・中規模改修等もこの補助制度を活用できる道が開けた。

今後、この制度改正も周知するとともに、県内から補助申請した小学校が採択されるよう、市町村と連携して、国に要望してまいりたい。



#### A. 杉本警察本部長

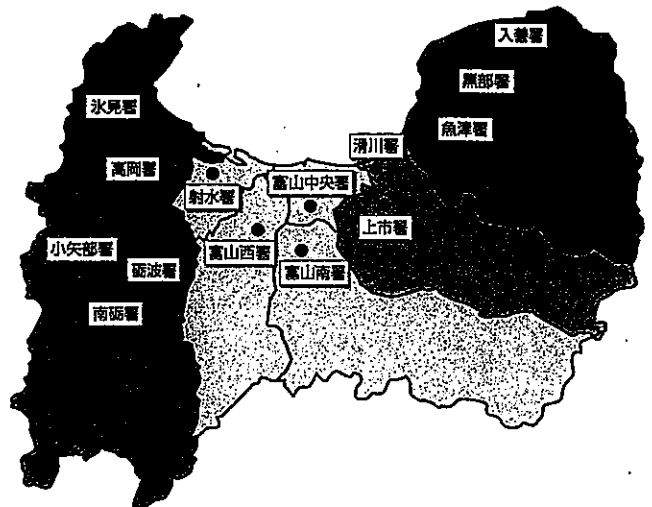
県警察では、人口減少・少子高齢化の急速な進行やサイバー犯罪等の新たな治安上の脅威といった情勢の変化に的確かつ柔軟に対応できる、しなやかで強靱な組織体制を構築するため、今般「富山県警察機能強化推進計画」を策定したものである。

本計画の重要な柱である警察署の再編については、小規模警察署における重大事件等発生時の初動対応、行方不明等人身安全関連事案への対応、サイバー犯罪等新たな警察事象への対応に課題があるほか夜間・休日の当直体制が脆弱である小規模警察署を統合し中規模署以上とするものであり、再編後は事案発生時における警察官の大量投入や当直体制の充実強化による迅速な事案処理など、単に署員数を足し合わせたよりも大きな総合的な治安機能の向上が図られるものと考えている。

また、委員ご指摘の、交番の機能強化については、そのこと自体が今回の再編の大きな目的の一つであり、具体的には再編により警察署の人員規模が大きくなることで刑事や交通などを専務とする警察官が増えるため、交番等に勤務する地域警察官は本来の主たる業務であるパトロール活動や巡回連絡に専念できる時間が増えていくものと考えている。

### 富山県内の警察署再編計画

高岡 氷見 砺波 南砺 小矢部  
入善 黒部 魚津 滑川 上市



## 5

質問

### 警察署の強化と再編計画について



例えば、牧野地区には、旧新湊警察署であった新湊幹部交番が近接しているが、地区住民が交番を訪問しても不在であることが多くある。そのことから今般の警察機能強化推進計画について、現存の県内の市町の警察署を再編統合することが、警察の機能強化にどうつながるのか、警察本部長に問う。



|            |                             |          |                             |          |             |        |
|------------|-----------------------------|----------|-----------------------------|----------|-------------|--------|
| 整理番号       | 735                         | 事業概要     | 酒井立志県政報告書 Vol. 17 印刷、発行、写真代 |          |             |        |
| 使途項目       | 03_広聴広報費                    | 01_調査研究費 | 02_研修費                      | 03_広聴広報費 | 04_要請陳情等活動費 | 05_会議費 |
|            |                             | 06_資料作成費 | 07_資料購入費                    | 08_事務所費  | 09_事務費      | 10_人件費 |
| 内容         | 酒井立志県政報告書 Vol. 17 印刷、発行、写真代 |          |                             |          |             |        |
| 上記事業に要した経費 | 経費の内容                       | 金額(円)    | 備考                          |          |             |        |
|            | 県政報告書印刷代 ポスティング             | 772,332  | 印刷費 426,360円 配布費 345,972円   |          |             |        |
|            | 写真代 6月定例会分                  | 13,200   |                             |          |             |        |
|            |                             |          |                             |          |             |        |
|            | 《合計》                        | 785,532  |                             |          |             |        |

9/7  
9/7

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

自由民主党富山県議会議員 領 収 書  
酒井立志 様

№. 003936

2022年 9月27日

772,332-

但し 県政報告書 印刷代・ポスティング

上記の金額正に領収いたしました

|   |       |          |
|---|-------|----------|
| 内 | 印刷物代金 | 702,120円 |
| 訳 | 消費税額  | 70,212円  |



平田印刷株式会社

本社・工場 高岡市 85番地  
TEL 0766-23-0001 FAX 0766-25-8242

取扱者



收受 令和 4 年 10 月 5 日  
決裁 令和 4 年 10 月 11 日  
処理 令和 4 年 10 月 11 日

6 自由民主党富山県議会議員会 酒井立志 様

納品書

平田印刷株式会社

代表取締役 平田 一彌  
〒933-0014

富山県高岡市野村1485番地  
TEL:0766-23-0061 FAX:0766-25-8242  
北陸銀行 高岡支店 当座預金 1006880

| 納品日        | 伝票番号 | 担当 |
|------------|------|----|
| 2022/09/20 | 5121 |    |

下記の通り納品致しました。ご検収下さい。

| 受注番号    | 品名/規格         | 数量        | 単位 | 単価     | 金額(税別)  | 立替金 |
|---------|---------------|-----------|----|--------|---------|-----|
| 2206444 | 県政報告書 vol.17  | 17,000.00 | 部  | 22.800 | 387,600 |     |
|         | ポスティング戸建配布 野村 | 3,194.00  | 部  | 24.000 | 76,656  |     |
|         | ポスティング戸建配布 成美 | 2,857.00  | 部  | 24.000 | 68,568  |     |
|         | ポスティング戸建配布 能町 | 3,524.00  | 部  | 24.000 | 84,576  |     |
|         | ポスティング戸建配布 万葉 | 630.00    | 部  | 24.000 | 15,120  |     |
|         | ポスティング戸建配布 伏木 | 1,800.00  | 部  | 24.000 | 43,200  |     |
|         | ポスティング戸建配布 中田 | 1,100.00  | 部  | 24.000 | 26,400  |     |

|    |    |         |        |     |         |
|----|----|---------|--------|-----|---------|
| 摘要 | 合計 | 税別      | 消費税    | 立替金 | 総額      |
|    |    | 702,120 | 70,212 | 0   | 772,332 |

6 自由民主党富山県議会議員会 酒井立志 様

請求書

平田印刷株式会社

代表取締役 平田 一彌  
〒933-0014

富山県高岡市野村1485番地  
TEL:0766-23-0061 FAX:0766-25-8242  
北陸銀行 高岡支店 当座預金 1006880

| 納品日        | 伝票番号 | 担当 |
|------------|------|----|
| 2022/09/20 | 5121 |    |

毎度お引立て有難うございます。下記の通りご請求申し上げます。

| 受注番号    | 品名/規格         | 数量        | 単位 | 単価     | 金額(税別)  | 立替金       |
|---------|---------------|-----------|----|--------|---------|-----------|
| 2206444 | 県政報告書 vol.17  | 17,000.00 | 部  | 22.800 | 387,600 | 387,600円  |
|         | ポスティング戸建配布 野村 | 3,194.00  | 部  | 24.000 | 76,656  | =426,360円 |
|         | ポスティング戸建配布 成美 | 2,857.00  | 部  | 24.000 | 68,568  | (ア)       |
|         | ポスティング戸建配布 能町 | 3,524.00  | 部  | 24.000 | 84,576  | 314,520円  |
|         | ポスティング戸建配布 万葉 | 630.00    | 部  | 24.000 | 15,120  | ×1)       |
|         | ポスティング戸建配布 伏木 | 1,800.00  | 部  | 24.000 | 43,200  | =345,922円 |
|         | ポスティング戸建配布 中田 | 1,100.00  | 部  | 24.000 | 26,400  | (イ)       |

|    |    |         |        |     |            |
|----|----|---------|--------|-----|------------|
| 摘要 | 合計 | 税別      | 消費税    | 立替金 | 総額 (ア)+(イ) |
|    |    | 702,120 | 70,212 | 0   | 772,332    |

請求明細書

富山県議会

酒井 立志 様

2022年06月13日

締切分 No.

00000470

PAGE

1 / 1

930-0835

富山市上富居2丁目19-3

フォトニクス



TEL 076-451-7413

FAX 076-451-7418

北陸銀行 越前町支店

普通 4164400 フォトニクス 横井弘幸

お客様コード

下記の通り御請求申し上げます

| 前回御請求額 | 御入金額 | 繰越金額 | 今回御買上額 | 消費税   | 源泉徴収税額 | 今回御請求額 |
|--------|------|------|--------|-------|--------|--------|
|        | 0    | 0    | 13,200 | 1,200 |        | 13,200 |

| 日付 / 伝票番号              | 商品コード / 商品名      | 数量 | 単位 | 単価     | 金額     |
|------------------------|------------------|----|----|--------|--------|
| 2022/06/09<br>00000468 | 001<br>本会議一般質問撮影 | 1  | 件  | 12,000 | 12,000 |
|                        | 令和4年6月定例会        |    |    |        |        |
|                        | 外消費税             |    |    |        | 1,200  |
|                        | 小計               |    |    |        | 13,200 |
|                        | 【税抜御買上額】         |    |    |        | 12,000 |
|                        | 【消費税額】           |    |    |        | 1,200  |

領収証

No. 00000473

2022年6月17日

酒井 立志 様

金額

¥13,200-

内

消費税等

¥1,200-

但 令和4年6月定例会 本会議一般質問撮影

上記正に領収いたしました

| 現金 |  |  |
|----|--|--|
|    |  |  |
|    |  |  |

930-0835 富山市上富居2丁目19-3

フォトニクス

横井弘幸

TEL 076-451-7413

FAX 076-451-7418

係



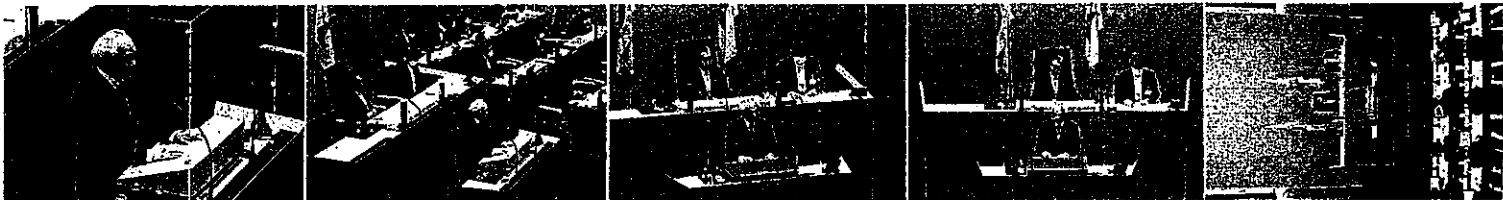
036

037

038

039

040



041

042

043

044

045



046

047

048

049

050



051

052

053

054

055



056

057

058

059

060



061

062

063

064

065



066

067

068

069

070

6A 1.

富山県議会議員 さかいたつし

# 酒井立志

県政報告書

発行者 自由民主党富山県議会  
議員会 酒井立志

Vol. 17

令和4年8月発行

スクラム

## とやま呉西圏域 連携中枢都市圏の形成 環日本海の中核拠点へ

日頃より皆様にはご支持・ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

本県経済の景気は新型コロナウイルス感染症の影響がみられますが、生産は持ち直し、個人消費は一部弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しています。

また、雇用情勢も有効求人倍率が上昇し緩やかな改善の動きが続いています。

新型コロナウイルス感染症は感染力の高いオミクロン株への置き換わりが進んだことや、大型連休中における社会経済活動の活発化、接触機会の増加等の影響により、全国的に新規感染者数の増加がみられ、高止まり傾向にあります。

県では感染の急拡大に備え、県内医療機関や医師会等と連携し、入院病床の確保や検査体制の強化、宿泊療養施設の増設、自宅療養者への支援体制の構築などに取り組んでいます。

これまで昼夜を問わず、献身的にご対応いただいている医療従事者の皆様、感染防止対策にご協力いただいている多くの県民や事業者の皆様にあらためて深く感謝申し上げます。

富山県議会6月定例会は、3日開会し、新田知事は、提出議案説明で補正予算全体の9割を占める「物価・原油高」の対策費に47億円を盛り込んだ案について、「県民生活や事業活動への影響に迅速に対応するための予算編成」と強調し、その上で交通や農林水産、観光など幅

広い業種への支援に力を入れる姿勢を示しました。

大きな柱は、新規事業に取り組む中小企業向けの「ビヨンドコロナ補助金」の拡充や、飲食店や農林水産漁業者を支援するためのプレミアム食事券販売などの取り組みとなります。

他にも、食材費が高騰する中、子ども食堂の活動を支援するとし、「子どもや地域の交流の場を確保したい」と述べました。

これらの説明をもとに、最終日は21日に本会議を再開し、物価・原油高対策を柱とした一般会計補正予算54億8,389万円を全会一致で可決・承認し閉会しました。

補正後の一般会計の総額は6,404億9,905万円となりました。

県職員による個人情報漏洩や文書の誤送付が相次いでいる事態について、全職員に対し改めて綱紀粛正と情報セキュリティ対策の徹底を指示した上で、外部有識者の助言を受けながら、再発防止に取り組むと強調しました。

本定例会において、私は社会を明るくする運動強化について、孤独・孤立問題等の対策について、港湾行政について、スタートアップ支援等について質問しましたので、以下県政報告書をご一読いただければ幸いです。

今後ともご支持ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

富山県議会議員 酒井立志

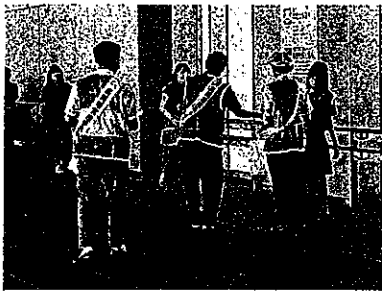
1  
質問

## 社会を明るくする運動の強化について

再犯防止に向けた社会復帰支援については、市町村単独では解決が難しい課題を抱える場合もあり、県と市町村、民間団体等が連携して支援体制を構築することが求められるが、県内市町村における再犯防止推進計画の策定状況と、今後の連携方針について問う。

### A. 木内厚生部長

市町村における再犯防止推進計画の策定について、県ではこれまで、助言や支援を行ってきたほか、昨年8月開催の「ワンチームとやま」連携推進本部会議において、知事から市町村長に対して、計画の策定を呼びかけたところである。策定状況は、6月現在、8市町が策定済みであり、策定予定が5市町村、未定が2市町となっている。



令和元年度末に策定した「県再犯防止推進計画」では、「国・市町村・民間団体等との連携強化」を重点分野として掲げ、再犯防止の一層の推進のためのネットワークの構築や、市町村や民間団体等に対する連携充実のための支援に取り組むこととしている。

そして、県では令和2年度から、「県再犯防止施策推進協議会」を設置し、情報を共有するなど連携を強化している。また、市町村職員等を対象とした「再犯防止推進セミナー」を開催し、再犯防止の理解促進と情報共有に取り組んでいるところ。

県としては、国の次期計画の改定内容も踏まえ、市町村や民間団体等と一層連携を強化し、県計画を推進してまいりたい。

犯罪被害者に対する支援について、県内市町村における条例の制定状況はどうか、また、県として今後どのように市町村と連携していくのか。

### A. 廣島生活環境文化部長

県内には、現在のところ、犯罪被害者等の支援を目的とした条例を制定している市町村はないが、県の条例に

基づき設置した富山県犯罪被害者等支援協議会には、県の市長会や町村会に参画いただき、ご意見をいただいている。

また、県の条例においては、県は市町村の犯罪被害者等支援施策等に対し、情報提供や助言、必要な協力を行うものと規定されていることから、県では市町村等の各種相談窓口担当者を対象とした研修会の開催や他の自治体の取組み状況の提供等を行っている。

市町村は、犯罪被害者や家族の方々等にとって身近な相談窓口であることから、県としては、今後とも、研修会の場などを活用し、市町村と定期的に意見交換や情報共有を行い、犯罪被害者等の支援の充実を図ってまいりたい。

寄り添います。  
あなたの悲しみ、  
苦しみに

どうか、ひとりで悩まないでください。  
相談時間：朝9時～午後5時（休日は年末年始を除く）10:00～16:00

☎076・413・7830

✉sodan@toyama-shien.com

公益社団法人 とやま被害者支援センター  
〒930-0858 富山県下巻町5番7号 URL: http://www.toyama-shien.com  
事務局 TEL:076-413-7830 FAX:076-477-7825

若者の薬物乱用を防止するためには、学校における啓発活動の強化が重要と考えるが、対応方針について問う。

### A. 荻布教育長

全国では若年層による大麻事犯が急増しており、学校現場において、児童生徒を薬物乱用の危険から守るためには、教職員が薬物に関する理解を深め、指導の充実を図るとともに、児童生徒の発達段階に応じた早期からの指導を徹底する必要がある。

このため、まず教職員に対しては、毎年、全ての学校の教職員等を対象とした「薬物乱用防止教室指導者講習会」を開催し、校内研修を通じた各教職員の指導力向上などに努めている。

また、児童生徒に対しては、薬物が体に及ぼす影響や恐ろしさを理解させるため、小学校ではシンナーなどの有機溶剤、中学校では覚醒剤や大麻、高校ではコカイン

などの麻薬を含め、薬物の有害性について授業で指導している。特に、中学校や高校では、薬物乱用が引き起こす社会問題などについても触れている。

今後とも、学校、家庭、地域、警察など、関係機関と連携し、薬物乱用防止教育の充実・強化に取り組んでまいりたい。



2 質問

孤独・孤立問題等の対策について

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化し、生活・雇用環境や地域社会の変化に伴う孤独・孤立の問題が一層深刻化していることから、本県における実態を詳細に把握・分析したうえで対策を講じていく必要があると考えるが、所見を問う。

A. 木内厚生部長

県内ではこれまでも、市町村や社会福祉協議会などの関係機関において、孤独・孤立の問題をはじめ、様々な不安や悩みを抱える人への相談支援を通じた支援ニーズの把握やアウトリーチによる実態把握等に努めている。また、①障害者、母子家庭等の支援を要する方を地域の方が支援するケアネット活動や、②市町村が世代や属性を問わない相談支援等を一体的に整備する「重層的支援体制整備事業」を支援し、国の重点計画に掲げられている、人と人とのつながりを支援している。

国では今年度も全国調査を実施し、継続的な実態把握に努め、施策の推進を検討することとしている。県においても、全国調査の結果や国の方針も踏まえつつ、県内の実態把握に努め、市町村や関係機関と連携し、当事者一人ひとりに寄り添った対策を講じてまいりたい。



ひきこもりの状態にある人やその家族への支援については、広域で支える体制の構築や、相談体制の充実、当事者の居場所づくりなどに力を入れていくべきと考えるが、本県における対応方針について問う。

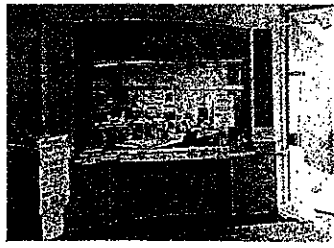
A. 木内厚生部長

県では、平成24年から心の健康センター内に「ひきこもり地域支援センター」を開設し、専任の相談員等が、ひきこもりの状態にある人や家族からの相談に対応している。

令和3年3月からは、センター内に医療や法律、心理、福祉等の専門家からなる「ひきこもり多職種専門チーム」を設置し、複雑化・長期化したいわば困難事例への対応について、担当者や家族等に対して専門的な助言を行っているところ。

さらに、自宅からほとんど出ない状態を脱し、地域や社会へのつながりを回復する段階にある方に対し、一定の期間協力事業所に通い、清掃作業やPC作業等本人の能力や希望等に配慮した就労体験を通じて、集中力や対人能力等を養い、社会復帰を目指す事業を行っている。

今後も、市町村や厚生センター等の支援機関と連携して、広域的かつ専門性の高い相談支援体制を構築するとともに、民間団体とも連携して、当事者が必要な支援を受けられる体制づくりに努めてまいりたい。



不登校の児童生徒への支援については、市町村の教育支援センターや民間のフリースクールなど多様な学びの場が増えてきており、様々な悩みを持った子どもたちがそれぞれのニーズに合わせた教育を受けられる環境づくりを関係者の連携のもとに進めていくことが重要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。

A. 荻布教育長

不登校児童生徒への支援については、個々の状況に応じて、多様な教育機会を確保する必要があり、県教育委員会としても、学校や市町が設置する教育支援センターのみならず、フリースクール等民間施設と積極的に連携





し、協力・補完することは重要であると考えている。

昨年度からは、教育支援センター、民間施設の代表を交えた不登校支援協議会を設置し、学校の担任等と児童生徒の活動の状況や様子について、積極的に情報交換を行い、連携を図っている。

県教育委員会としては、支援協議会に心理学の専門家等に参画いただくなど、専門的な見地からの意見をもと

に、関係者同士のネットワークを一層深めていきたいと考えている。さらに、民間施設における活動内容や学校と民間施設等との連携の状況について、情報を集約し、市町村教育委員会や学校に提供するなど、不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じたよりよい教育環境づくりに努めてまいりたい。

### 不登校児童生徒への支援の在り方について



伏木富山港教育委員会

伏木富山港教育委員会

教育推進運営協議会」を設置し、今月中に第1回の会合を開催することとしている。今後、こうした場での協議を深めるとともに、市町村教育委員会と一層連携し、外国籍の子どもの就学状況の把握と支援に努めてまいりたい。

Q コロナ禍が長引くなか、本県における生活保護申請件数や自立相談支援機関の新規相談件数はどのように推移しているのか、今後の対策とあわせて問う。

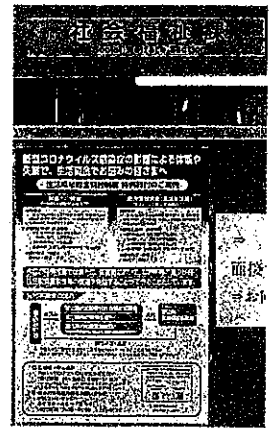
#### A. 木内厚生部長

県内の生活保護申請件数は、令和元年度の623件から、令和2年度は760件と増加し、令和3年度は735件で横ばいからやや減少している。

また、自立相談支援機関の新規相談件数は、令和元年度は654件、令和2年度は1,371件と大幅に増加し、令和3年度は1,009件とやや減少している。

今般の6月補正予算案では、新型コロナの影響による収入減少世帯等を支援するため、生活福祉資金の特例貸付及び生活困窮者自立支援金の申請期限を延長するとともに、自立相談支援機関の支援員を増員し、就労支援体制を強化することとしている。

今後とも、様々な制度の活用周知をはじめ、市町村や自立相談支援機関等の関係機関と連携し、必要な世帯に支援が確実に届くよう、しっかり取り組んでまいりたい。



Q 義務教育段階にあたる年齢で小中学校や外国人学校などに通っていない不就学の可能性がある外国籍の子どもについて、本県における現状と今後の対応策について問う。

#### A. 荻布教育長

令和3年5月時点の国の調査では、本県の外国籍の子どもで、不就学又は不就学の可能性がある者は、あわせて12人となっており、2年前の調査から41人減少している。



しかし、定期的に住民登録の住所を訪ねたり、電話連絡をしたりするものの、保護者が就学を拒否するケースや、保護者との連絡が全く取れず、状況が確認できないケースもあると聞いている。

県教育委員会では、これまでも市町村教育委員会の事務担当者が集まる連絡協議会を開催し、外国人の就学に関する課題や対応等について情報共有を図っており、さらに、今年度から新たに、市町村教育委員会、小・中・高校、大学、関係団体の代表者を委員とする「外国人児童生徒

### 3 質問

#### 港湾行政について

Q 伏木富山港におけるカーボンニュートラルポートの形成に向け、本年2月に検討協議会を立ち上げ、来年度末までに計画策定を目指すこととしているが、今後どのような方針で取り組んでいくのか。

#### A. 市井土木部長

県が管理する伏木富山港において、脱炭素社会の実現

に貢献するため、令和5年度末を目途にカーボンニュートラルポート形成計画を策定することとし現在、検討を進めている。

カーボンニュートラルポートの実現には、荷役機械や大型車両等を含めた港湾オペレーションの脱炭素化をはじめ、臨海部立地産業と連携した港湾地域における面的な取組みを進めることが重要である。このため、港湾管理者である県のほか民間事業者、国、関係市等で構成する検討協議会を設置し、本年2月に第1回協議会を開催したところである。今後、年に数回程度の協議会を開催し、令和4年度は温室効果ガス排出量の調査・推計等を行い、令和5年度は温室効果ガス削減目標を設定し、計画を策定する予定である。

協議会では、カーボンニュートラルポート形成計画策定後においても定期的に脱炭素化の取組み状況を確認するとともに、必要に応じ柔軟に形成計画を見直せるよう、いわゆるPDCAサイクルを回す体制を構築していきたいと考えている。



本県の港湾計画は、前回の改訂から約23年が経過していることから、社会情勢の変化、特にカーボンニュートラルポート形成計画の策定を契機に、港湾計画を改訂してはどうかと考えるが、所見を問う。

#### A. 市井土木部長

現在、カーボンニュートラルポート形成計画を策定中であり、策定後、実現に向けた取組みを進めることとしていることから、将来港湾計画を改訂する際には、このことを反映できるように検討したいと考えている。

一方、①ロシアのウクライナ侵攻による中古車輸出な

どのロシア関連貨物への影響、②伏木富山港の取扱貨物量の約4割を占める石油や石炭などエネルギー関連貨物へのカーボンニュートラルの取組みによる影響、③新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴うサプライチェーンの見直しによる影響など、社会的不安定要素が多く、伏木富山港における今後の貨物量の動向は、依然、非常に不透明な状況にある。

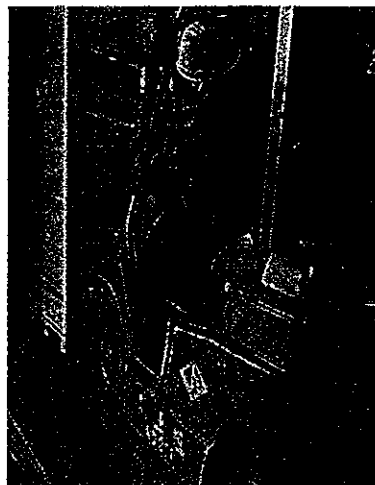
県としては、議員ご指摘の通り現計画は、改訂から長期間が経過しているものの、引き続き、社会情勢の変化等を注視しながら、対応について検討してまいりたい。

伏木富山港を活用した農林水産物等の輸出拡大に向け、生産関係者と物流・港湾関係者が連携してコールドチェーンの確保などに取り組み、産地と海外を直航サービスでつなぐ「産直港湾」を目指してはどうかと考えるが、所見を問う。

#### A. 新田知事

昨年度、輸出拡大方針策定にあたり物流・港湾関係者等で構成するWTにおいて、伏木富山港を活用する際の課題や支援方策等を協議したところであり、今年度、①取組み可能な商品から事例を作り普及することや、②既存の直航サービスに、別の商品の混載を商社に提案することなどに取り組むこととした。

議員ご提案の、産直港湾については、国が大ロットの輸出を想定し、温度・衛生管理施設の整備などに支援するものであり、全国では大規模港湾が2件認定されているのみである。県としては、こうした事例も参考としながら、まずは「とやま輸出コミュニティ」の会員を中心に、①新しい商流を開拓する「リーディングプロジェクト」や、②地域商社が複数商品をまとめて輸出する「輸出プラ



ットフォーム」構築を進める中で、伏木富山港の活用実績を積み上げていきたいと考えている。

今後とも、関係者と連携しながら、北陸の十字路に位置する伏木富山港の活用が拡大するよう努めてまいりたい。



## 4

質問

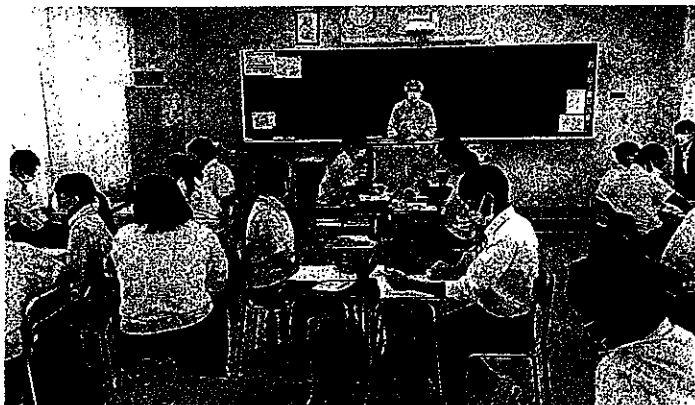
### スタートアップ支援について

産学官の連携のもと、小中高校生を対象とした起業体験プログラムを実施してはどうかと考えるが、所見を問う。

#### A. 荻布教育長

チャレンジ精神、創造性、探究心等の「起業家精神」や、情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーションといった「起業家的資質・能力」は、起業家や経営者はもちろん、どのような立場であっても社会で活躍するために重要であり、児童生徒が起業体験を経験することは大きな意義がある。

また、起業体験は、働くことへの理解を図るとともに、地域への愛着を深め、自分の将来について考える契機にもなり、起業家育成にもつながることから、今後もその良さを広め、取組みが進むよう、市町村教育委員会の意見も聞きながら起業家教育の充実に努めてまいりたい。



### 酒井立志 プロフィール

|       |              |
|-------|--------------|
| 昭和30年 | 新湊市出生        |
| 昭和53年 | 中央大学 経済学部 卒業 |
| 昭和55年 | 高岡市転籍        |
| 平成17年 | 高岡市議会 議員     |
| 平成26年 | 高岡市議会 議長     |
| 平成28年 | 富山県議会 議員     |
| 令和元年  | 経済産業委員会 委員長  |
| 令和3年  | 教育審務委員会 委員長  |



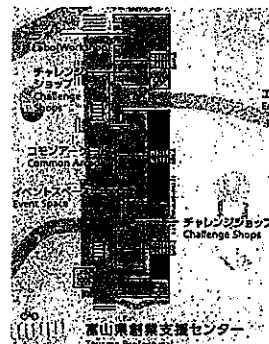
先月末に開催された成長戦略会議において、成長戦略の成果指標の案が示され、なかでもスタートアップ支援については、2026年度までに「新規上場企業を1社、または同等の企業価値の企業を複数社創出する」ことを目指すとされているが、実現に向けて具体的にどのような取組みを進めていくのか、今後のスケジュールとあわせて問う。

#### A. 新田知事

富山県がスタートアップエコシステムを構築していくためには、まずはロールモデルとなる成功事例を作ることが大切であり、今回の成果指標(案)は、2026年度までにまさにそのロールモデルとしてIPO 1社、または同等の企業価値の企業を複数社創出することを目指している。

このため、県では今年度、今後活躍が期待される起業家を公募し、特に突き抜けた起業家をT-Startupに認定し、知的財産の活用や、VCからの資金調達などのファイナンス、販路開拓や上場に向けた計画策定など、スタートアップが直面するであろう課題について、ニーズに応じた専門家派遣や人材マッチング等を行うなど、集中的な支援を実施することとしている。

今後のスケジュールについては、一般的に上場手続きには最低でも2年かかることから、目標の2年前の2024年度までの3年間で、認定したT-Startupを磨き上げ、上場準備を進められるよう取り組んでまいりたい。



## 酒井立志事務所

高岡市姫野 921-18 TEL・FAX 0766-82-2510  
E-mail sakai\_103714@po4.canet.ne.jp

<https://sakai-103714-amebaownd.com/>

政務活動費対象事業実績報告書

報告者 酒井 立志

|            |              |  |                         |          |
|------------|--------------|--|-------------------------|----------|
| 整理番号       | 796          | 事業概要*  | 新聞代                     | 4月分 ~8月分 |
| 使途項目       | 07_資料購入費     | 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費<br>06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費 |                         |          |
| 内容         | 新聞代          |  |                         |          |
| 上記事業に要した経費 | 経費の内容*       | 金額(円)*   | 備考                      |          |
|            | 北日本新聞 4月~8月分 | 16,900   | 3,380 × 5ヶ月 = 16,900円 / |          |
|            | 富山新聞 同上      | 16,900   | 3,380 × 5ヶ月 = 16,900円 / |          |
|            | 聖教新聞 同上      | 9,435  | 1,887 × 5ヶ月 = 9,435円    |          |
|            | 《合計》*        | 43,235   |                         |          |

(きれない場合は、別紙に整理すること。)

2022年4月分 領収証 発証No. 00004210-202204-1(J)

**酒井 立志 様**

姫野921-18

| 銘柄       | 部数 | 金額     |
|----------|----|--------|
| 北日本新聞朝刊※ | 1  | 3,380* |

合計金額 ¥3,380\* (税込) (8%対象 3,380円)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金・販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物等のご案内などに利用させていただきます。  
※は軽減税率対象

北日本新聞朝刊は軽減税率対象口座振替をおすすめしています

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました  
4年4月27日 領収

(有)北日本新聞加藤販売店  
射水市庄西町2-16-2  
0766-82-2350  
垣内恭子

北日本新聞

2022年5月分 領収証 発証No. 00004210-202205-1(J)

**酒井 立志 様**

姫野921-18

| 銘柄       | 部数 | 金額     |
|----------|----|--------|
| 北日本新聞朝刊※ | 1  | 3,380* |

合計金額 ¥3,380\* (税込) (8%対象 3,380円)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金・販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物等のご案内などに利用させていただきます。  
※は軽減税率対象

北日本新聞朝刊は軽減税率対象口座振替をおすすめしています

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました  
4年5月7日 領収

(有)北日本新聞加藤販売店  
射水市庄西町2-16-2  
0766-82-2350  
垣内恭子

北日本新聞

收受 令和4年10月5日  
決裁 令和4年10月11日  
処理 令和4年10月11日

# 酒井 立志 様

姫野921-18

| 銘柄       | 部数 | 金額     |
|----------|----|--------|
| 北日本新聞朝刊※ | 1  | 3,380* |

| 合計金額          |
|---------------|
| ¥3,380*       |
| (税込)          |
| (8%対象 3,380円) |

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金・販売所からの各種ご連絡、新聞・出版等のご案内などに利用させていただきます。  
※は軽減税率対象

北日本新聞朝刊は軽減税率対象  
口座振替をおすすめしています

(有)北日本新聞加藤販売店  
射水市庄西町2-16-2  
0766-82-2350  
垣内恭子

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました

4年6月27日領収

北日本新聞



2022年7月分 領収証 発証No. 00004210-202207-1(J)

# 酒井 立志 様

姫野921-18

| 銘柄       | 部数 | 金額     |
|----------|----|--------|
| 北日本新聞朝刊※ | 1  | 3,380* |

| 合計金額          |
|---------------|
| ¥3,380*       |
| (税込)          |
| (8%対象 3,380円) |

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金・販売所からの各種ご連絡、新聞・出版等のご案内などに利用させていただきます。  
※は軽減税率対象

北日本新聞朝刊は軽減税率対象  
口座振替をおすすめしています

※は軽減税率対象

(有)北日本新聞加藤販売店  
射水市庄西町2-16-2  
0766-82-2350  
垣内恭子

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました

4年7月7日領収

北日本新聞



2022年8月分 領収証 発証No. 00004210-202208-1(J)

# 酒井 立志 様

姫野921-18

| 銘柄       | 部数 | 金額     |
|----------|----|--------|
| 北日本新聞朝刊※ | 1  | 3,380* |

| 合計金額          |
|---------------|
| ¥3,380*       |
| (税込)          |
| (8%対象 3,380円) |

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金・販売所からの各種ご連絡、新聞・出版等のご案内などに利用させていただきます。  
※は軽減税率対象

北日本新聞朝刊は軽減税率対象  
口座振替をおすすめしています

(有)北日本新聞加藤販売店  
射水市庄西町2-16-2  
0766-82-2350  
垣内恭子

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました

4年8月9日領収

北日本新聞



## 領収証

22年04月分

年月日

No.

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額

3,380

| 銘柄    | 部数 | 金額    |
|-------|----|-------|
| 富山新聞※ | 1  | 3,380 |

上記金額正に領収致しました。

8%税率対象合計 3,380

10%税率対象合計 0

富山新聞販売(株)

新湊センター

射水市本町2丁目11-22

TEL (0766) 82-4127

FAX (0766) 82-4487

※は軽減税率対象品目  
金額は税込金額

お支払いは口座振替(翌月2日)が便利です。

集金担当



領収証 22年 05月分 4年 6月 日 No. [redacted]

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額 3,380

| 銘柄    | 部数 | 金額    |
|-------|----|-------|
| 富山新聞※ | 1  | 3,380 |

上記金額正に領収致しました。  
8%税率対象合計 3,380  
10%税率対象合計 0



富山新聞販売 (株)

新湊センター  
射水市本町2丁目11-22  
TEL (0766) 82-4127  
FAX (0766) 82-4487

※は軽減税率対象品目

集金担当 [redacted]

領収証 22年 06月分 年 月 日 No. [redacted]

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額 3,380

| 銘柄    | 部数 | 金額    |
|-------|----|-------|
| 富山新聞※ | 1  | 3,380 |

上記金額正に領収致しました。  
8%税率対象合計 3,380  
10%税率対象合計 0



富山新聞販売 (株)

新湊センター  
射水市本町2丁目11-22  
TEL (0766) 82-4127  
FAX (0766) 82-4487

※は軽減税率対象品目  
金額は税込金額

お支払いは口座振替(翌月2日)が便利です。  
クレジットカード決済も承ります。

集金担当 [redacted]

領収証 22年 07月分 年 月 日 No. [redacted]

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額 3,380

| 銘柄    | 部数 | 金額    |
|-------|----|-------|
| 富山新聞※ | 1  | 3,380 |

上記金額正に領収致しました。  
8%税率対象合計 3,380  
10%税率対象合計 0



富山新聞販売 (株)

新湊センター  
射水市本町2丁目11-22  
TEL (0766) 82-4127  
FAX (0766) 82-4487

※は軽減税率対象品目  
金額は税込金額

お支払いは口座振替(翌月2日)が便利です。  
クレジットカード決済も承ります。

集金担当 [redacted]

# 領収証

22年 08月分 年 月 日 No. [REDACTED]

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額 3,380

| 銘柄    | 部数 | 金額    |
|-------|----|-------|
| 富山新聞※ | 1  | 3,380 |

上記金額正に領収致しました。  
 8%税率対象合計 3,380  
 10%税率対象合計 0  
 富山新聞販売(株)



新湊センター  
 射水市本町2丁目11-22  
 TEL (0766) 82-4127  
 FAX (0766) 82-4487

集金担当



※は軽減税率対象品目  
 金額は税込金額

お支払いは口座振替(翌月2日)が便利です。  
 クレジットカード決済も承ります。

## 新聞購読料 領収証

酒井 立志 様

ご購入ありがとうございます。  
 下記金額を正に領収いたしました。

2022年 4月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

| 品名 | 定価(税込) | 部数 | 金額 |
|----|--------|----|----|
|    |        |    |    |

## 新聞購読料 領収証

酒井 立志 様

ご購入ありがとうございます。  
 下記金額を正に領収いたしました。

2022年 5月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

| 品名 | 定価(税込) | 部数 | 金額 |
|----|--------|----|----|
|    |        |    |    |

## その他購読料等 領収証

| 品名    | 定価(税込) | 部数 | 金額    |
|-------|--------|----|-------|
| 公明新聞※ | 1,887  | 1  | 1,887 |

※は軽減税率対象品目です。 (10%対象 0)  
 (8%対象 1,887)

## その他購読料等 領収証

| 品名    | 定価(税込) | 部数 | 金額    |
|-------|--------|----|-------|
| 公明新聞※ | 1,887  | 1  | 1,887 |

※は軽減税率対象品目です。 (10%対象 0)  
 (8%対象 1,887)

販売店 細川 博徳  
 住所 富山市五艘292-46  
 TEL 076-471-5688 FAX 076-471-5759



お申込No. [REDACTED]

販売店 細川 博徳  
 住所 富山市五艘292-46  
 TEL 076-471-5688 FAX 076-471-5759



お申込No. [REDACTED]



新聞購読料 領収証

酒井 女志 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2022年 6月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

| 品名 | 定価(税込) | 部数 | 金額 |
|----|--------|----|----|
|    |        |    |    |

その他購読料等 領収証

| 品名   | 定価(税込) | 部数 | 金額    |
|------|--------|----|-------|
| 公明新聞 | 1,887  | 1  | 1,887 |

販売店 細川 博徳  
住所 富山市五艘292-46  
TEL 076-471-5688 FAX 076-471-5759

お申込No.



新聞購読料 領収証

酒井 女志 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2022年 7月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

| 品名 | 定価(税込) | 部数 | 金額 |
|----|--------|----|----|
|    |        |    |    |

その他購読料等 領収証

| 品名   | 定価(税込) | 部数 | 金額    |
|------|--------|----|-------|
| 公明新聞 | 1,887  | 1  | 1,887 |

販売店 細川 博徳  
住所 富山市五艘292-46  
TEL 076-471-5688 FAX 076-471-5759

お申込No.



新聞購読料 領収証

酒井 女志 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2022年 8月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

| 品名 | 定価(税込) | 部数 | 金額 |
|----|--------|----|----|
|    |        |    |    |

その他購読料等 領収証

| 品名   | 定価(税込) | 部数 | 金額    |
|------|--------|----|-------|
| 公明新聞 | 1,887  | 1  | 1,887 |

販売店 細川 博徳  
住所 富山市五艘292-46  
TEL 076-471-5688 FAX 076-471-5759

お申込No.



|            |                          |                      |                          |                     |   |
|------------|--------------------------|----------------------|--------------------------|---------------------|---|
| 整理番号       | 1136                     | 事業概要                 | 酒井立志県政報告書 Vol. 18 印刷、発行代 |                     |   |
| 使途項目       | 03_広聴広報費                 | 01_調査研究費<br>06_資料作成費 | 02_研修費<br>07_資料購入費       | 03_広聴広報費<br>08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費<br>09_事務費<br>05_会議費<br>10_人件費 |
| 内容         | 酒井立志県政報告書 Vol. 18 印刷、発行代 |                      |                          |                     |   |
|            |                          |                      |                          |                     |   |
| 上記事業に要した経費 | 経費の内容                    | 金額(円)                | 備考                       |                     |   |
|            | 県政報告書印刷代、発行代             | 986,517              | 平田印刷株式会社                 |                     |   |
|            |                          |                      |                          |                     |   |
|            |                          |                      |                          |                     |   |
|            | 《合計》                     | 986,517              |                          |                     |   |

12/13

領 収 書

№. 004062

自由民主党 岡山県委員会  
委員会 酒井立志

様

R4 年12月10日

¥ 986,517

但し  
上記の金額正に領収いたしました

|   |       |   |
|---|-------|---|
| 内 | 印刷物代金 | 円 |
| 訳 | 消費税額  | 円 |



**平田印刷株式会社**  
 本社・工場 高岡市 85番地  
 TEL 0766-23-0011 FAX 0766-25-8242

取扱者

収受 令和 4 年 12 月 26 日  
 決裁 令和 5 年 1 月 16 日  
 処理 令和 5 年 1 月 16 日

6 自由民主党富山県議会議員会 酒井立志 様

## 納品書

## 平田印刷株式会社

代表取締役 平田 一彌

〒933-0014

富山県高岡市野村1485番地

TEL:0766-23-0061 FAX:0766-25-8242

北陸銀行 高岡支店 当座預金 1006880

| 納品日        | 伝票番号 | 担当 |
|------------|------|----|
| 2022/10/28 | 5298 |    |

下記の通り納品致しました。ご検収下さい。

| 受注番号     | 品名/規格                | 数量        | 単位 | 単価     | 金額(税別)  | 立替金     |
|----------|----------------------|-----------|----|--------|---------|---------|
| 2206686  | 県政報告書 vol.18         | 25,000.00 | 部  | 19.200 | 480,000 |         |
| 22066972 | 県政報告書vol.18 ポスティング立替 |           |    |        |         | 458,517 |
|          |                      |           |    |        |         |         |
|          |                      |           |    |        |         |         |
|          |                      |           |    |        |         |         |
|          |                      |           |    |        |         |         |
|          |                      |           |    |        |         |         |
|          |                      |           |    |        |         |         |

| 摘要 | 合計 | 税別      | 消費税    | 立替金     | 総額      |
|----|----|---------|--------|---------|---------|
|    |    | 480,000 | 48,000 | 458,517 | 986,517 |

6 自由民主党富山県議会議員会 酒井立志 様

## 請求書

## 平田印刷株式会社

代表取締役 平田 一彌

〒933-0014

富山県高岡市野村1485番地

TEL:0766-23-0061 FAX:0766-25-8242

北陸銀行 高岡支店 当座預金 1006880

| 納品日        | 伝票番号 | 担当 |
|------------|------|----|
| 2022/10/28 | 5298 |    |

毎度お引立て有難うございます。下記の通りご請求申し上げます。

| 受注番号     | 品名/規格                | 数量        | 単位 | 単価     | 金額(税別)  | 立替金     |
|----------|----------------------|-----------|----|--------|---------|---------|
| 2206686  | 県政報告書 vol.18         | 25,000.00 | 部  | 19.200 | 480,000 |         |
| 22066972 | 県政報告書vol.18 ポスティング立替 |           |    |        |         | 458,517 |
|          |                      |           |    |        |         |         |
|          |                      |           |    |        |         |         |
|          |                      |           |    |        |         |         |
|          |                      |           |    |        |         |         |
|          |                      |           |    |        |         |         |
|          |                      |           |    |        |         |         |

| 摘要 | 合計 | 税別      | 消費税    | 立替金     | 総額      |
|----|----|---------|--------|---------|---------|
|    |    | 480,000 | 48,000 | 458,517 | 986,517 |



# 酒井立志

県政報告書

発行者 自由民主党富山県議会議員会 酒井立志

スクラム

## とやま呉西圏域 連携中枢都市圏の形成 環日本海の中核拠点へ

皆様には、日頃から温かいご支援とご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

県議会9月定例会は8日に開会し、新田知事は提出議案説明で県内の新型コロナの感染者について「先月中旬をピークに減少傾向にあるが、入院者数は依然として高い水準で推移している」と説明し、感染防止策を徹底して医療提供体制の確保に努めると強調しました。

さらに今月中にもオミクロン株対応のワクチン接種が始まる見込みとし、「県民への接種が円滑に進められるよう、市町村をはじめ関係者と連携して取り組む」と述べ特設会場を富山市、高岡市に設けて個別接種を行う医療機関を支援するとしています。

物価高騰対策では、政府が9日に追加支援策をまとめることを挙げ、「これらの動きを踏まえながら、新型コロナや物価高騰による県民生活、事業活動への影響に引き続き迅速に対応する」と話しました。

28日に本会議を再開し、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）などによる被害防止や救済に関する議員提出の意見書を全会一致で可決。その内容は、靈感商法被害の

防止・救済を求めるもので、相談体制を強化するための予算や高校・大学における周知・啓発への支援を要望しています。

その他意見書3件や物価高騰、新型コロナ対策を盛り込んだ一般会計225億3452万円の9月補正予算案など28件を可決、承認し閉会しました。

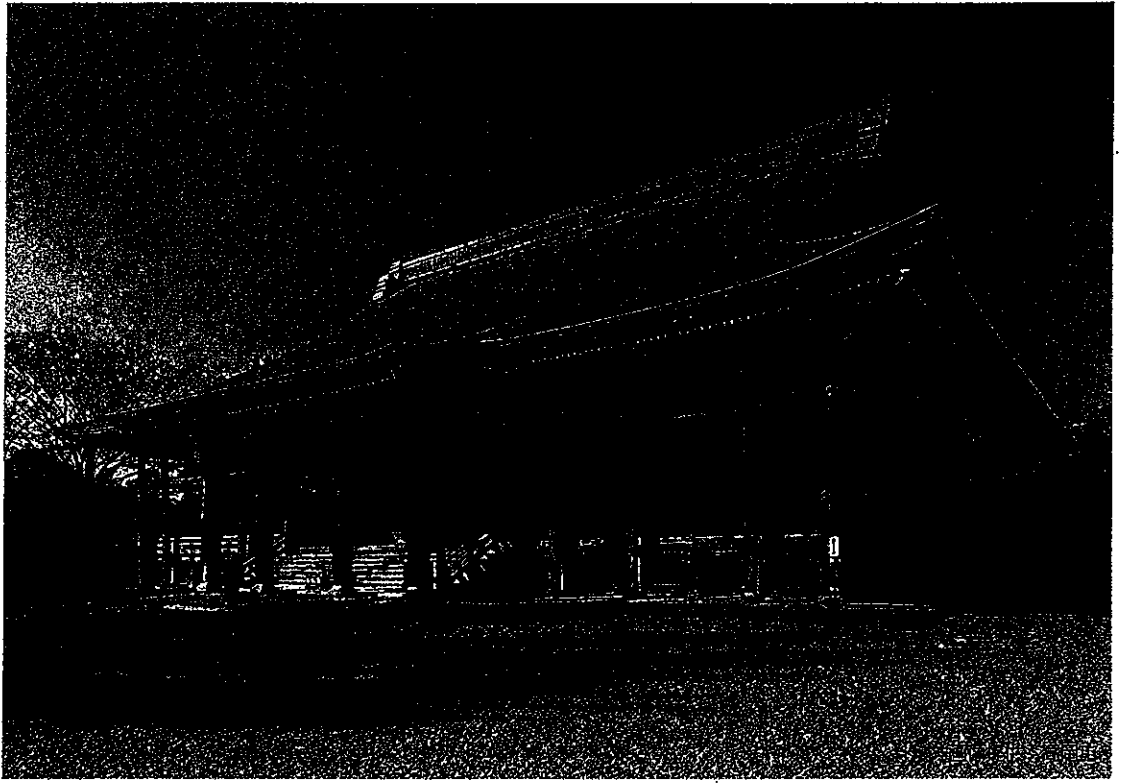
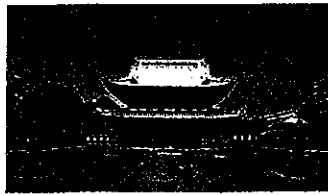
今定例会では、一般質問、予算特別委員会での質問の機会がありませんでしたので、今年度の県議会を代表する中央省庁（文科省、警察庁）への要望活動内容を県政報告書として纏めました。

要望先は文部科学省と警察庁で、教育警務委員長として当局を代表する部課長の皆さんとともに要望いたしました。

内容の一部ですがご一読いただけると幸いです。

今後とも、皆様のご意見、ご要望を賜ることをお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝ご多幸をお祈りしてご挨拶いたします。

# 2022年中央省庁への要望活動内容〈文科省・警察庁〉



## 文部科学省

要望  
1

### 「近世高岡の文化遺産群」の 世界文化遺産登録の推進等について

江戸時代の都市形成の資産が創建当初の姿で残る「近世高岡の文化遺産群」は、平成20年（2008年）に暫定一覧表候補の文化遺産と位置付けられて以来、これまで、国の支援をいただきながら、文化財指定や保存修理事業を推進し、構成資産の充実、磨き上げを進めてきた。

とりわけ、国指定重要文化財「勝興寺」は、平成10年（1998年）から23箇年を要した大規模な修復工事が無事に完了した。昨年4月には盛大に竣工式が執り行われ、宮田前文化庁長官をはじめ文化庁関係者の方々にも多数ご出席いただき感謝申し上げます。

地元では、江戸時代の荘厳な姿を取り戻した勝興寺を貴重な文化資産としてのみならず、地域の新たな文化観光資源として大いに活用を図るため、国宝への期待が高まっており、県としても昨年度から、新たな魅力の発信や国宝指定にふさわしい学術的な価値付けのための調査研究を支援している。

については、「近世高岡の文化遺産群」の世界遺産暫定一覧表への記載、そのためにも、まずは「勝興寺」の国宝指定をはじめとした高岡の文化遺産群のさらなる充実、向上に引き続きご支援をお願いする。

■文化庁 次長 塩見みつ枝氏

■文化庁 文化遺産国際協力室長 鈴木文孝氏

ご承知のとおり、平成20年に世界文化遺産暫定一覧表について整理させていただいたところであり、高岡、立山ともに世界遺産暫定一覧のカテゴリ2としてフェーズされている。世界遺産への登録の課題はお示したところであるが、様々な取り組みを進めていただいていると思う。

今、暫定一覧表の見直しについて議論している。追加にあたっては、国内的な価値はもちろん世界的な視点に立って資産が評価されるかどうか重点が置かれている。その学術的な価値をしっかりと調査研究して証明していただきたい。

また、世界文化遺産として登録された後の保存及び活用が持続的にできる体制が整っている、という観点からも引き続き検討していく。今後も協力をお願いする。



**要望 2** 小中学校の施設整備の推進について

施設整備に関しては、老朽化対策や再編統合、少人数学級の推進等のための施設整備が円滑かつ計画的に実施できるよう十分な予算の確保をお願いしたい。

特に、新しい義務教育統合校の整備に対する、新たな支援制度の創設に対して格別なご配慮をお願いしたい。

現在の国庫負担金制度では、統合と直接関係のない旧水橋高校の解体費は対象とならないこととされている。しかしながら、旧水橋高校の解体は、今回の統合には、必要不可欠なものであり、また、小中学校の統合の際に、より敷地の広い高校跡地を活用することは、今後の全国の再編統合のモデルケースともなるのではないかと考えている。このため、解体費を含めた全体を補助対象とするような新たな支援制度の枠組みの創設に格段のご配慮をお願いする。

**要望 3** 特別支援学校等の生徒指導の充実について

インクルーシブ教育の推進のため、障がい児等の学習環境の改善が必要であることから、バリアフリー化等の施設整備について、令和3年度から補助率が2分の1に引き上げられたところだが、この補助対象を高校まで拡充することや、交付税措置の拡充、補助対象となる工事基礎額の下限の引き下げなど財政支援のさらなる拡充をお願いしたい。

**要望 4** 地震防災対策をはじめとする自然災害対策の充実・強化について

本県においては、平成27年度末に県立学校の耐震化が、また、令和3年度末には県内小中学校の耐震化が完了したところだが、非構造部材の耐震対策などの防災機能強化事業に係る補助対象の拡充や補助率の引き上げ（現行1/3→要望1/2）などの財政支援の充実をお願いしたい。

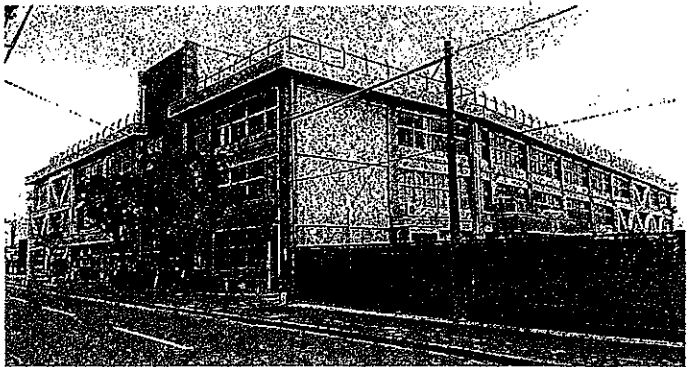
■文部科学省 大臣官房 文教施設企画・防災部 技術参事官 笠原 隆氏  
■文部科学省 大臣官房 文教施設企画・防災部 施設助成課長 野沢和也氏

今いただいた要望はいずれも、我々としても全国的な課題として認識している。

富山県は多目的スペースを先進的にやっている。公立学校のオープンスペース、福光の学校が色々取り組まれており、富山県は教育熱心であるが、そのようなところが学校整備にも表れていると思っている。

全国的に老朽化の問題があり、特別支援の重要性が認められたことで教室不足の問題もあり、これは需要が非常に増しており、やらなければならないと思っている。予算の確保については我々としても精いっぱいやっていきたい。どんな支援ができるか、また議論させてほしい。

国土強靱化計画の中でも、学校の整備、老朽化対策は重要。インフラ関係は予算がかかってしまうが、学校というのは防災の観点からも避難所にもなるし、お年寄りから子どもまで全ての人を使うところ。学校は、子どもたちの教育の場であり、また、いろいろな形で活用できる場所。そういう論点で我々としても予算要求の説明はしやすい。今後も財務省に必要性を訴えていきたいので、色々な立場で意見をいただくとありがたい。







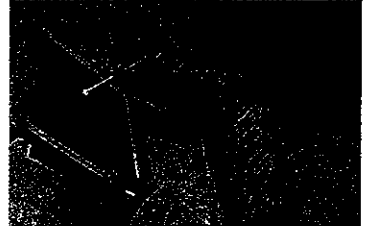
**要望 5** GIGAスクール構想に基づくICT教育の充実について

GIGAスクール構想の実施により、1人1台端末などICT教育環境が整備され、感謝申し上げます。優れたICT教材及び指導方法の開発・提供や、文部科学省CBTシステムの学習コンテンツ充実によるデジタル学習基盤の確立などにより、個に応じた学習の充実が図られるよう一層の支援をお願いします。

また、各学校に対する支援に必要な専門知識・技能を持つICT専門人材の育成・確保のための対策をお願いします。さらに、1人1台端末の更新費用を含めたICT環境整備への財政支援の拡充、デジタル教科書について、自治体の負担が生じないよう財政支援するなど、ICT教育環境をより充実させるための支援をお願いしたい。

■文部科学省 大臣官房  
学習基盤審議官 茂里 毅氏

北陸、富山県はローカルの取り組みをされていて、その成果が出てありがたいと思っている。



GIGAスクールは、走りながら考えなければならない部分がある。現場の声を聞いて、「セットアップに時間がかかる」「サポートしてくれるスタッフがない」「回線が遅い」など、1つずつ丁寧に聞いて、丁寧に課題を潰していかないといけない。

GIGAスクールについては、地域格差が大きくなっている。仕方なしに嫌々使っているところと、非常に使いこなしているところと、格差が出はじめている。

新学習指導要領の中での1番のメッセージは、これまでの「教える時間」を「子どもたちの学びの時間」に変えようというもの。アクティブラーニングが、GIGAスクール構想が入ってやりやすくなった。各地の状況を全国ネットで見ることができるのは文科省なので、各自治体における良い取り組みを吸い上げて横展開したい。

整備は全国的に見て終わったとされていて、次は活用の段階かと。その際には、①サポート、②コンテンツ充実という課題がある。理論武装をしっかりと、財務省と話をしたい。

**要望 6** 個に応じたきめ細かな指導の充実等に向けた教職員定数改善等について

小学校の35人学級については、小学校の学級編成の基準が改正され、令和3年度より2年生から学年進行で段階的に35人学級が実施されることとなり感謝申し上げます。

少人数学級に加え、少人数指導を充実させるため、加配定数を維持しつつ、純増での定数改善と財政確保がなされるようお願いする。

少人数指導や教科担任制の実施、様々な教育課題（外国人児童生徒、いじめ、不登校）に対する支援のための定数措置を充実されるようお願いする。

加えて、本県では、来年度以降も、小中学校の統廃合が計画されており、統合校の運営を安定させるための経過的な定数措置についても、継続していただくようお願いする。

また、初任者研修指導教員となる定数措置及び財政支援措置の更なる拡充をお願いします。

さらに、チームとしての学校運営に必要な専門スタッフ（部活動指導員、学校司書）配置への財政支援等の更なる拡充をお願いします。

■文部科学省 大臣官房  
学習基盤審議官 茂里 毅氏

教職員定数について、加配をキープしながら中学校まで少人数学級をとというのは、厳しいお言葉であるが我々も同じ思いである。もともと、萩生田大臣の時には財務省に要求をぶつけている。子どもの数が減ってくるので、使わなくなる分を半分でも1/3でも使わせてくれと言っており、何も新たな財源負担が生じるわけではないのだが、財務省は許可してくれない。

その論争を乗り越える一番のエネルギーは、地方の声である。このような要望等、地方の声を聴いて整理して、財務省にぶつけていきたい。



## 警察庁

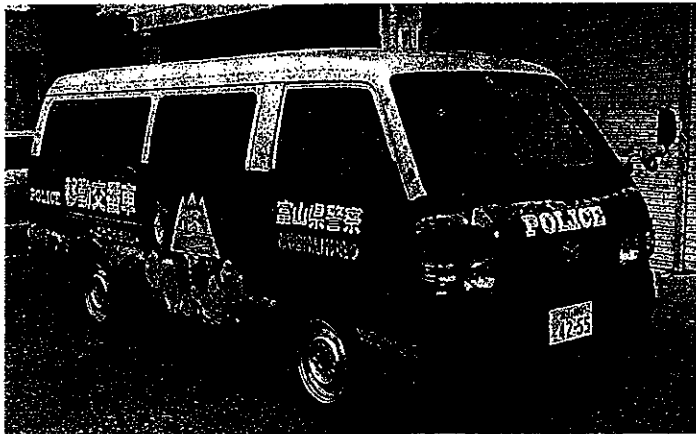
要望  
7

「地域活動を強化するための移動交番車両及び無線警ら用車両の増強配備」について

「移動交番車」は警察署や交番等の警察施設から離れた地域や事件事故の多発地域、ツキノワグマ等の危険動物の出没地域など、弾力的かつ多目的用途での運用が可能であるが、特に通学時間帯における子どもの安全・安心のため、通学路等の見守り活動に運用したいと考えている。

また、無線警ら用車両における事件事故の多発地域、通学路における警ら活動の強化を考えている。

つきましては、パトロール活動の充実強化を図るため、車両の増強配備をお願いしたい。



■警察庁長官官房 会計課長

警視監 重松弘教氏

■警察庁生活安全局生活安全企画課

地域警察指導室長 警視正 小川哲兵氏

移動交番車車両及び無線警ら用増強配備について、富山県警では、移動交番車両の車体にラッピングを施すなど、効果的に運用していると承知している。

警察庁としても地域警察活動の充実強化に努めており、要望を踏まえ、適切に対応したい。

要望  
8

「通学路における歩行者の安全確保のための信号制御機の更新、信号灯器のLED化など交通安全施設の高度化更新について」

本県では、安全で円滑な道路交通環境を確保するため、老朽化した交通安全施設の計画的な更新を進めているところである。一方、一昨年は滋賀県大津市で、昨年には千葉県八街市において発生した交通事故を受け、未就学児や通学児童等、歩行者の交通事故防止に向けた交通安全施設の高度化更新の重要性が増している。

ついては、老朽化した、交通安全施設の更新及び高度化更新に係る財源措置をお願いしたい。

■警察庁長官官房 会計課長

警視監 重松弘教氏

■警察庁交通局交通規制課 理事官

警視正 岩浅太一氏

大津市や八街市の事故を踏まえ、子供の安全な通学環境を確保することの重要性は認識している。警察庁としても必要な予算の確保に努めたい。富山県においても信号制御器の老朽化対策を含め、計画的な交通安全施設の整備に取り組まれない。



# 2022年中央省庁への要望活動内容〈文科省・警察庁〉

要望  
9

## 『警察署の再編整備の推進』について

本県では、本年2月に警察署の再編を柱とした「富山県警察機能強化推進計画」を策定し、富山市及び射水市を除く県内10警察署を4警察署に再編するほか、統合の機会に合わせて十分な施設規模及び機能を有する新たな警察署を建設していくこととしている。

現段階では具体的な整備スケジュールは未定であります。今後の施設整備に当たり、施設補助金新営単価の増額及び財政支援の拡充を合わせてお願いします。

■警察庁長官官房 会計課長

警視監 重松弘教氏

■警察庁生活安全局生活安全企画課

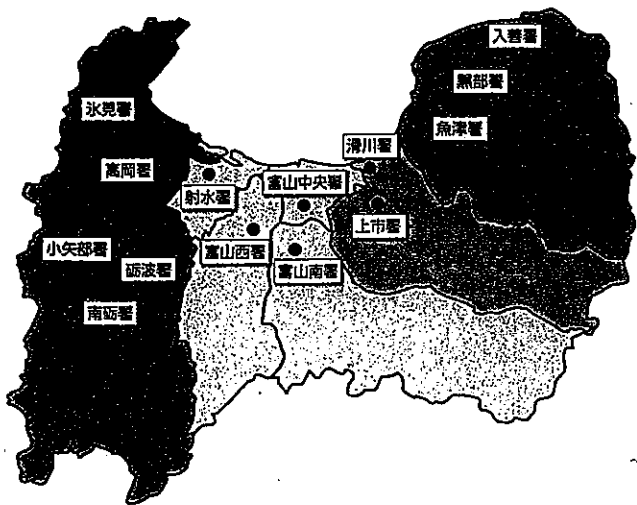
地域警察指導室長 警視正 小川哲兵氏

警察署の再編であるが、警察署は地域の治安維持の拠点であるし、災害発生時にも拠点として、その機能を十分発揮しなければならないと認識している。

警察庁としても整備のありようについては、施設、機能含めてしっかりしたものではないかと考えている。

高岡 氷見 砺波 南砺 小矢部

入善 黒部 魚津 滑川 上市



具体的なスケジュールや、内容がはっきりすれば、厳しい財政事情であるが、重要性は認識しているので、しっかり対応していきたい。

要望  
10

## 『国直轄事業の警察犬及び犬舎その他必要な施設等の整備』について

近年、凶器を使用した事件現場への出動、高齢者等行方不明者の捜索活動等、警察犬出動のニーズがある一方で、嘱託警察犬指導者の後継者不足に伴う警察犬数の減少が深刻化している現状にある。

また、爆発物捜索時や凶器を所持した被疑者の追跡活動等においては、民間人である嘱託警察犬指導者の身体に危険が及ぶ恐れがあることから、嘱託警察犬の導入についてお願いします。



■警察庁長官官房 会計課長

警視監 重松弘教氏

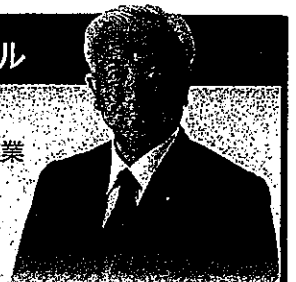
■警察庁刑事局犯罪鑑識官付

警視正 鈴木康修氏

直轄警察犬の整備については、要望の主旨を踏まえ、その有効性、必要性を総合的に勘案して引き続き検討したい。

## 酒井立志 プロフィール

昭和30年 新湊市出生  
昭和53年 中央大学 経済学部 卒業  
昭和55年 高岡市転籍  
平成17年 高岡市議会 議員  
平成26年 高岡市議会 議長  
平成28年 富山県議会 議員  
令和元年 経済産業委員会 委員長  
令和3年 教育警務委員会 委員長



酒井立志事務所

高岡市姫野 921-18 TEL・FAX 0766-82-2510

E-mail sakai\_103714@po4.canet.ne.jp

<https://sakai-103714-amebaownd.com/>

|            |                  |                      |                    |                     |                       |                  |
|------------|------------------|----------------------|--------------------|---------------------|-----------------------|------------------|
| 整理番号       | 1417             | 事業概要                 | キーボード代             | プリンターインク代           |                       |                  |
| 使金項目       | 09_事務費           | 01_調査研究費<br>06_資料作成費 | 02_研修費<br>07_資料購入費 | 03_広聴広報費<br>08_事務所費 | 04_要請陳情等活動費<br>09_事務費 | 05_会議費<br>10_人件費 |
| 内容         | キーボード代 プリンターインク代 |                      |                    |                     |                       |                  |
| 上記事業に要した経費 | 経費の内容            | 金額(円)                | 備考                 |                     |                       |                  |
|            | キーボード代           | 7,425                | 14850円の按分二分の一      |                     |                       |                  |
|            | プリンターインク代        | 3,237                | 6474円の按分二分の一       |                     |                       |                  |
|            |                  |                      |                    |                     |                       |                  |
|            | 《合計》             | 10,662               |                    |                     |                       |                  |

5/31  
6/5

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

発行日:2022年06月05日

領収書

管理No.1256-404-0000334

酒井立志

様

伝票No.1256-404-039941

¥6,474 (内消費税 ¥588)

但しインク 代として。

支払内訳  
現金

¥6,474 10%対象 ¥6,474(内消費税 ¥588)

上記の金額正に領収いたしました。

株式会社ヤマダデンキ  
群馬県高崎市栄町1-1

印紙税申告納  
付につき高崎  
税務署承認済

※印刷面を内側に折って保管願います。



4204600011 KAM6CL カ  
ITツインク 1:持帰 外10 01 ¥3,456  
4191991017 UXNR9GW SSS  
ツクリホツフイ 1:持帰 外10 01 ¥2,430

TLグリーンモール中曽根店

收受 令和 4 年 12 月 26 日  
決裁 令和 5 年 3 月 22 日  
処理 令和 5 年 3 月 22 日

お客様コードNo. XXXXXXXXXX 掛売上

# 請求書

No. 152137

22年 05月 19日

株式会社 トヤマデータ

〒 930-0016

富山市柳町1-1-11

TEL 076-433-1833

振込先

北陸銀行 本店営業部

担当: XXXXXXXXXX



31-3749

当座:1605680

下記の通り御請求申し上げます。

| 品番                                  | 品名 | 数量 | 単位 | 単価     | 金額(税抜) | 備考 |
|-------------------------------------|----|----|----|--------|--------|----|
| SurfacePro タイプカバーキーボード<br>FMN-00019 |    | 1  | コ  | 13,500 | 13,500 |    |
|                                     |    |    |    |        |        |    |
|                                     |    |    |    |        |        |    |
|                                     |    |    |    |        |        |    |

220512-012

摘要:

|    |    |        |    |       |    |        |
|----|----|--------|----|-------|----|--------|
| 合計 | 税抜 | 13,500 | 税額 | 1,350 | 総額 | 14,850 |
|----|----|--------|----|-------|----|--------|

御得意先No.     
御得意先名

## 領収書

No 052458

2022年5月31日

酒井立志 殿

|      |   |   |   |   |    |
|------|---|---|---|---|----|
| 領収金額 | 円 | 千 | 百 | 十 | 元  |
|      |   | 1 | 4 | 8 | 50 |

但しキーボード代  
上記金額正に領収いたしました。

| 内訳  |   |
|-----|---|
| 現金  |   |
| 小切手 |   |
| 手形  |   |
| 振込  | ✓ |

8%対象税込合計

消費税等

10%対象税込合計

消費税等

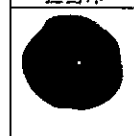
### TDC 株式会社 トヤマデータセンター

- 本社 〒930-0016 富山市柳町1丁目1番11号 TEL(076)433-1822(代)
- システムソリューション部 TEL(076)464-6336
- 富山支店 〒930-0016 富山市柳町1丁目1番11号 TEL(076)433-1833(代)
- 高岡支店 〒939-1104 高岡市戸出町4丁目12番9号 TEL(0766)63-7712(代)
- 黒部支店 〒938-0031 黒部市黒部226番 TEL(0765)56-6777
- 新潟支店 〒950-0943 新潟市中央区神田3丁目4番2号 TEL(025)285-7733(代)

登録番号

収入  
印紙

担当印



社印・担当者印・無きものは無効とします。

|      |                               |       |   |
|------|-------------------------------|-------|---|
| 管理番号 | 1410                          | 使途項目  | 01_調査研究費<br>01_調査研究費・02_研修費<br>03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費   |
| 活動期間 | 令和4年9月29日 から<br>令和4年9月30日 まで  | 活動の概要 | 中央省庁本県出向者講師の勉強会、意見交換会<br><br>29日は新田一郎氏総務省財政課長による地方財政の課題、<br>30日は滝陽介消防庁救急企画室長による救急行政の現状と課題の勉強会 |
| 場所   | 29日、渋谷エクセルホテル東急、<br>30日、自民党本部 |       | (備考)自宅から新高岡駅から東京駅から新高岡駅から自宅   |

| 経費の内容               | 金額<br>(単位:円) | 経費の内容             | 金額<br>(単位:円) |
|---------------------|--------------|-------------------|--------------|
| 鉄道・バス 新高岡駅～東京駅～新高岡駅 | / 27,460     | 宿泊料               | / 12,100     |
| タクシー                | / 1,880      | 食事代 9/29 夕食、30 朝食 | / 3,000      |
| 航空機                 |              | 会費                |              |
| 自家用車 37円 × 21km =   | / 777        |                   |              |
| リース車 18円 × km =     | 0            |                   |              |
| 有料道                 |              |                   |              |
| 駐車場                 | / 600        | 合計                | / 45,817     |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 令和 4 年 12 月 26 日  
 決裁 令和 5 年 3 月 22 日  
 処理 令和 5 年 3 月 22 日

領 収 書

井立志 様

Receipt

領収年月日 2022.-9.28

金額 ¥27,460 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(10617 4枚)

西日本旅客鉄道株式会社

新高岡駅

新高岡駅F12発行 20618-01

印紙税申告納  
付につき大定済  
税務署承認済

領 収 書

現金・カット・クーポン・割引 No.8793

日付 2022年09月30日 09:44

車番 019658 0000

運賃 ¥500円

運賃料金計 ¥500円

合計 ¥500円

上記の様に領収致しました  
毎度ご乗車ありがとうございます

AOKI TAXI

ドア番号 1906

お忘れ物は下記所属団体へ  
東京都個人タクシー協同組合 大田第一支部

平日9~17時 03(5753)8038

時間外 03(6271)0006

お問い合わせは

(一社)東京都個人タクシー協会  
03(3847)1461

ご要望は

(公財)東京タクシーセンター  
03(3548)0300

ホテルモントレ ~ 自民党本部

No 014

領 収 書

2022年09月30日

車番 224

運賃 1380円

運賃料金計 1380円

計 1380円

お忘れ物、ご要望は当社へ

栄自動車株式会社

TEL 03(3887)6111

自民党本部 ~ 東京駅

□□□□□□□□□□□□□□□□  
□ 高岡市宮新高岡駅立体駐車場 □  
□ 高岡市下黒田3001 □  
□ TEL 0766-24-4252 □  
□□□□□□□□□□□□□□□□

領 収 証

入車日時 2022年09月29日 08時29分

精算日時 2022年09月30日 18時16分

No.03-000060 券No.02-135725

駐車料金 (JR認証) 600円

料金計 600円

投入現金 1,000円

釣銭額 400円



ご請求明細書  
STATEMENT



ホテルモンテレ赤坂  
HOTEL MONTEREY AKASAKA  
〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目9番24号  
4-9-24 Akasaka Minatoku Tokyo City 107-0052  
TEL:03-3401-7111 FAX:03-3401-7112

お名前 酒井立志 様

お部屋番号 1102      ご人数 1  
ご到着 2022/09/29      ご出発 2022/09/30

| 日付    | ご明細           | 部屋番号 | 料金     | お支払等   | 備考 |
|-------|---------------|------|--------|--------|----|
| 09/29 | お預かり金<br>御宿泊料 | 1102 | 13,030 | 13,030 | *  |

1

ご請求金額 0 (内消費税: 1,184)

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

(内宿泊税等: 0)

伝票等につきましては、すでにお渡し済みでございますので、再発行致し兼ねます。

発行番号 092911110034 P 1 3 11 A AL AL  
22/09/29 15:08 30702

ご署名

領 収 書

お名前 酒井立志 様

2022/09/29 092911110034

金額 ¥13,030-



但し ご宿泊代として

印紙税申告納  
付につき麻布  
税務署承認済

上記金額正に領収致しました。

ホテルモンテレ赤坂  
〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目9番24号  
TEL:03-3401-7111 FAX:03-3401-7112

県外・海外政務活動報告書

令和 4年 12月8日

|                                     |  |        |             |
|-------------------------------------|--|--------|-------------|
| 整理番号                                | 1418   | 会派・議員名 | 自民党議員会 酒井立志 |
| 活動名称                                | 中央省庁県出向者講師の勉強会・意見交換会                         |        |             |
| 目的                                  | 中央省庁県出向者講師の勉強会 1. 新田一郎氏 2. 滝陽介氏              |        |             |
| 日程                                  | 令和 4年 9月29日(木)～ 9月30日(金)                     |        |             |
| 場所<br>〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕             | 1. 9月29日は渋谷エクセルホテル東急(新田氏) 2. 9月30日は自民党本部(滝氏) |        |             |
| 相手方等<br>〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕          | 新田一郎 総務省財政課長<br>滝 陽介 消防庁救急企画室長               |        |             |
| <p>行程・活動内容</p> <p>勉強会の内容は別紙明細通り</p> |  |        |             |

自民党県連「ふくらぎ会」及び「党本部研修会」日程

令和4年9月20日現在

| 開催日      | 概要     | 日程   | 会場   |
|----------|--------|--|--|
| 9月29日(木) | 勉強会    | ○16:30～17:30<br>講師：総務省 財政課長 新田 一郎 氏<br>演題：国における財政の課題と富山の抱える個別案件            | 渋谷エクセルホテル東急6F<br>「プラネッツルーム」<br>(東京都渋谷区道玄坂1-12-2) |
|          | ふくらぎ会  | ○18:30～20:30<br>意見交換懇親会  |  |
| 9月30日(金) | 党本部研修会 | ○10:00～10:45<br>講師：消防庁救急企画室長 滝 陽介 氏<br>演題：救急行政の現状と課題～最新のトピックを中心に～          | 自由民主党本部7階 701号室<br>(東京都千代田区永田町1-11-23)           |
|          |        | ○11:00～11:45<br>講師：茂木 敏充 幹事長<br>演題：今後の政策課題と3つの安全保障<br>※12:00前後 麻生副総裁 挨拶で調整 |  |

## 9月29日の勉強会

講師：総務省財政課長 新田一郎氏 演題「国における財政課題と富山の抱える個別案件」  
国防費、子ども予算、北陸新幹線、5G・IT、地方創生、人口減少、憲法改正、地方自治等  
国土強靱化予算は国は二分の一でトータルで75%。全国に1700の自治体あるが税金  
は東京だけは全部賄えるがその他の道府県は賄えない。富山県は教育まででそれ以上は交  
付税に頼っている。

コロナの期間、10分の10の臨時交付金があるため地方財政はよくなった。富山県は1.  
4兆円(県70億円、各市で70億円)この臨時交付金はどのように使われたのか検証すべ  
き。そのことで、国の借金は増え、地方の借金は減少した。活用される事業債として地方団  
体が単独で実施する河川等の浚渫事業で元利償還金の70%が地方交付税措置されている。  
今後は法人税の増税の可能性が大きい。

北陸新幹線は敦賀まで2024年3月開業。敦賀・大阪間の環境アセスメントが行わる。大  
阪は駅の場所が決まっている。北海道新幹線は2030年まで決定。いずれも残土処理問題  
が大きい。京都市内における整備がトンネル等の難工事。京都が本気になっていないのが  
懸念材料。新幹線建設財源はJRの貸付料をあてにしており、JRは赤字路線の廃線に舵を切  
るのではないか。

富山県での氷見線・城端線LRT化は現実的ではなくバス路線が望ましいとの見解。

人口減少問題としては若者の貧困、男性の非正規雇用の多い状況は解消すべき。また、子ど  
もの3人・4人政策も必要である。更に、ひきこもり対策も重要である。

憲法改正では、第8章地方自治において、都道府県は出てこない。このことは憲法上保障さ  
れていないし、認められていないということである。

勉強会後は(ふくらぎかい)意見交換会

参加者：地元国会議員お含め富山県ゆかりの省庁職員。(別紙明細)

## 9月30日の勉強会

講師：消防庁救急企画室長 滝 陽介氏 演題「救急行政の現状と課題」

平成21年：消防の任務及び消防法の目的に傷病者の搬送を適切に行うことを明記

(令和3年現在)消防本部数：724本部、救急隊数：5,302隊、

救急隊員数：65,181人、救急救命士資格者数：41,226人、

運用救急救命士：28,722人、救急自動車数：6,579台

救急隊員数は令和3年4月1日現在10年前と比較して約7.6%の増加。

令和3年中の救急自動車による救急出動件数(速報値)は619万3663件で、昨年と比  
較して約4.4%増加している。

平成21年消防法改正後の救急業務に関する都道府県の役割として

1. 既存の医療資源を活用しつつ、受け入れ医療機関の選定困難事業の解消を図るた  
めには、搬送を担う消防機関と、受け入れを行う医療機関の連携を強化することが必要。

そのため、消防機関と医療機関が連携し、搬送及び受け入れの実施に関するルールの策定や消防機関及び医療機関等が参加する協議組織の設置を内容とする改正を実施。

感染症法に基づく患者の移送と消防機関による救急搬送業務との関係について感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律では、都道府県知事は、入院する患者を、当該入院に係る病院または診療所に移送することができるとなっています。

新型コロナウイルス感染症について、感染症法の準用がなされ、都道府県知事が入院を勧告した者（疑いがある者を含む）または入院をさせた患者の医療機関まで移送は、都道府県知事が行う業務とされています。そのことから4点確認してみたいと考えた。

- 1, 保健所の搬送件数は、
- 2, 救急隊の不搬送件数は、
- 3, 救急搬送困難事業件数は
- 4, タクシー替わりでの利用件数とその対応は。

マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化に向けた検討について

政府は、2022年度末にほぼ全国民にマイナンバーカードが行きわたることを目指すとの方針もと、マイナンバーカードの利活用拡大の国民の利用性を推進するとともに、市町村における交付体制の強化に向けた支援を行うなど、適切な広報も含め、マイナンバーカードの普及に取り組むとしています。オンライン資格について、保健医療機関・薬局に、2023年4月から導入を原則としてぎむづけし、2024年度中を目途に保険者による保険証発行の選択制の導入を目指し、さらにオンライン資格確認の導入状況を踏まえ、保険証の原則廃止を目指します。

消防庁では今年度、救急現場において、救急隊が搬送先医療機関の選定を行う際に、疾病者のマイナンバーカードを活用して搬送先医療機関の選定に資する情報を入手することにより、救急業務の迅速化や円滑化を図るための実証実験を実施していますが本県及び各市消防本部の対応状況は。

救急安心センター事業（＃7119）の概要について

（＃7119）とは、住民が急な病気やけがをしたときに、「救急車を呼んだほうがいいのか」、「今すぐ病院に行った方がいいのか」などで迷った際の相談窓口として、専門家から電話でアドバイスを受けることができる仕組み。相談窓口では、相談を通じて病気やケガの症状を把握した上で、救急相談、適切な医療機関の案内をうけることができます。

具体的には、1, 直ちに医療機関を受診すべきか、2時間以内に受診すべきか、24時間以内か、明日でも良いか等。 2, 救急車を要請するのか、自分で医療機関に行くのか、民間搬送事業者等を案内するのか。 3, 適切な診療科目及び医療機関等の案内を行う。

（＃7119）に関する全国の実施状況は

現在、全国19地域で実施。人口カバー率は47.5%（5,997万人）

県内全域：全国13地域、東京都、新潟県等。県内一部：6地域、札幌市、神戸市等。

（＃7119）事業効果

1. 救急車の適正利用、2. 救急医療機関の受診の適正化、3. 住民への安心・安全の提供の3点が事業効果の認識でありましたが、加えて、新たに4. 時代の変化への適切な対応、5. 新型コロナウイルス感染症対策」という観点からも本事業に寄せられる期待や重要性の高まりを確認。

|      |                                 |       |   |
|------|---------------------------------|-------|---|
| 整理番号 | 1419                            | 使途項目  | 01_調査研究費<br>01_調査研究費・02_研修費<br>03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 令和4年10月23日 から<br>令和4年10月24日 まで  | 活動の概要 | 1. 全拉致被害者帰国要求国民大集会参加<br>2. (株)地方議会総合研究所セミナー参加       |
| 場所   | 23日、砂防会館<br>24日、アットビジネスセンター池袋駅前 |       | (備考)自宅～富山駅～<br>東京駅～富山駅～自宅                           |

| 経費の内容             | 金額<br>(単位:円) | 経費の内容        | 金額<br>(単位:円) |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|
| 鉄道・バス 富山駅～東京駅～富山駅 | 27,660       | 宿泊料          | 7,227        |
| タクシー              |              | 食事代 10/23 夕食 | 2,000        |
| 航空機               |              | セミナー受講料      | 25,000       |
| 自家用車 37円 × 34km = | 1,258        |              |              |
| リース車 18円 × km =   | 0            |              |              |
| 有料道               |              |              |              |
| 駐車場               |              | 合計           | 63,145       |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

**領 収 書** 酒井立志 様

Receipt  
領収年月日 2022/10/21  
金額 ￥27,660 (消費税等込み)  
上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets  
(00560 4枚)  
西日本旅客鉄道株式会社  
新高岡駅  
新高岡駅F12発行 10561-01

印紙税申告納  
付につき大淀  
税務署承認済

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキ口数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 令和 4 年 12 月 26 日  
 決裁 令和 5 年 3 月 22 日  
 処理 令和 5 年 3 月 22 日

請求不明細書  
Amount Description



第一イン池袋  
TEL 03-3986-1221  
FAX 03-3986-1222

| 客室番号<br>Room No. | お名前<br>Name Of the Guest | 人数<br>Pers | ご利用日<br>Date          |
|------------------|--------------------------|------------|-----------------------|
| 2912             | Mr. 酒井立志<br>Ms. 酒井立志     | 1          | 22.10.23-22.10.24(1泊) |

| 日付<br>Date      | 摘要<br>Description    | 料金<br>Charges | お支払<br>Payment | 備考<br>Remarks |
|-----------------|----------------------|---------------|----------------|---------------|
| 10.23           | チェックインデポ(一休.comポイント) |               | IP 73          |               |
| 10.23           | チェックインデポ(現金)         |               | CA 7,227       | ✓             |
| 10.23           | 朝食付きプラン              | 7,300         |                |               |
| 小計<br>Sub Total |                      | 7,300         | 7,300          |               |

(内消費税 Con.Tax ¥663)  
(標準税率 ¥7,300)  
(軽減税率 ¥0)

ご請求額  
Balance Due  
ご返金額  
Refund

当ホテルをご利用頂きまして誠にありがとうございます。  
またのご利用を心よりお待ちしております。  
Thank you for your stay with us.  
We look forward to serving you again.

発行No. 236771  
No. 202210230198 C  
発行日 2022.10.23  
023 CA 1  
第一イン池袋

ご署名  
Signature  
会社名  
Firm

(1/1)

領収書  
Receipt

No. 202210230198 C

酒井立志 様

¥7,227

上記正に領収致しました  
但、

(内消費税 Con.Tax ¥663)  
(標準税率 ¥7,300)  
(軽減税率 ¥0)

第一イン池袋  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-42-8  
TEL 03-3986-1221 FAX 03-3986-1222



領収書

富山県議会

酒井 立志 様

2022年10月24日

金額

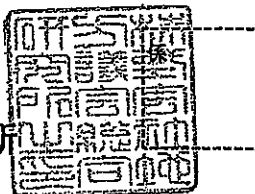
¥ 25,000

但 10月24日セミナー受講料として  
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011  
東京都文京区千石 2-34-6





株式会社 地方議会総合研究所





県外・海外政務活動報告書

令和 4年 12月8日

|  |  |        |             |
|--|--|--------|-------------|
| 整理番号   | 1419   | 会派・議員名 | 自民党議員会 酒井立志 |
| 活動名称   | 1. 全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会参加、2. 地方議会総合研究所セミナー                         |        |             |
| 目的   | 1. 全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会参加、2. 地方議会総合研究所セミナー                         |        |             |
| 日程   | 10月23日(日)から10月24日(月)   |        |             |
| 場所<br>〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕  | 1. 10月23日(日)は砂防会館 2. 10月24日(月)はアットビジネスセンター池袋駅前                       |        |             |
| 相手方等<br>〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕   | 株式会社 地方議会総合研究所 代表取締役 広瀬和彦氏<br>三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 自治体経営改革室長 大塚 敬氏 |        |             |
| <p>行程・活動内容</p> <p>勉強会の内容は別紙詳細通り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px 0;">     <p style="text-align: center;"><b>大塚 敬</b><br/>自治体経営改革室長<br/>一級建築士</p> <p>三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング株式会社<br/>〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2<br/>オランダヒルズ森タワー<br/>Tel: 03-6733-3442 (直通)<br/>03-6733-1022 (部代表)<br/>Fax: 03-6733-1028<br/>www.murc.jp</p> </div> |  |        |             |
| <p><b>株式会社 地方議会総合研究所</b></p> <hr/> <p>代表取締役 <b>広瀬 和彦</b></p> <p>〒112-0011<br/>東京都文京区千石2-34-6<br/>TEL: 03-6912-1930<br/>FAX: 03-6912-2280<br/>E-mail: [redacted]<br/><a href="https://www.gkaisoken.jp/">https://www.gkaisoken.jp/</a></p>  |  |        |             |

10月23日に開催された「全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会」に五十嵐議員と参加しました。

平成14年10月の蓮池さんら5人の帰国から今年で20年となっても、なお残された被害者がいることに家族らは怒りの声をあげ「日本で再会するまでは諦めない」と強く訴え、私たちも決意を新たにしました。

この集会において、岸田首相は、被害者家族の高齢化を踏まえ、「拉致問題は時間的制約のある人権問題」と述べ、また、金正恩朝鮮労働党総書記と「条件を付けず、直接向き合う決意だ」と重ねてしっかりと取り組む方針を示しました。

拉致問題の解決に向け、人権問題として風化させることなく、若い世代にも理解を求めながら世論を動かしていく必要があると考えるが、新田知事のご所見を伺います。

北朝鮮は2016年・17年にも20発の弾道ミサイルを発射しています。ちょうど最近と同じように軍事挑発を繰り返しました。

今年は34回、50発のミサイルを発射し、かつてない頻度で行っており、中には日本の上空を超えていくことも数回あることに大きな危機を感じます。

日本人の多くは、ミサイルの脅威を理解されていない状況が何より不安といった声もあります。

県民の命を守るため、北朝鮮ミサイル対応訓練の実施や県民への啓発など、十分な備えが必要と考えるが、どのように対応するのか。

また、有事の際、県は国とどのように連携し対応するのか、利川危機管理局長に伺います。

令和4年8月31日

各都道府県議会 拉致問題議員連盟会長 様

拉致問題地方議会全国協議会  
会長 松田良昭

「全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会」の開催について

当協議会の活動につきましては、日ごろから格別の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび標記行事につきまして、別添のとおり家族会及び救う会等と開催いたします。御多忙のところ恐縮ですが、国民大集会への参加について御協力くださいますようお願いいたします。

なお、御参加いただける場合は、参加者を各都道府県でとりまとめの上、別紙参加票により10月11日(火)までにご連絡くださるようお願いいたします。

※全員欠席の場合もその旨ご連絡くださるようよろしくようお願いいたします。

【国民大集会の概要】

○日 時：令和4年10月23日(日曜)午後2時から4時まで

○場 所：砂防会館別館1階 シェーンバッハ・サボー

東京都千代田区平河町2-7-4

電話：03(3261)8386

最寄り駅 地下鉄永田町駅

(有楽町線・半蔵門線・南北線の4番出口から徒歩1分程度です)

○主 催：北朝鮮による拉致被害者家族連絡会(家族会)

北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会(救う会)

北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟

北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会

拉致問題地方議会全国協議会

○参加費：無料

問合せ先

拉致問題地方議会全国協議会事務局長

神奈川県議会議員 小島 健一

(事務局)

神奈川県議会 議会局政策調査課 若槻

電話 045(210)1111(内線7567)

045(210)7567(直通)

Mail

# 地方公共団体における総合計画の 最新動向と進行管理のポイント

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
自治体経営改革室長 大塚敬

三菱UFJリサーチ&コンサルティング



---

## 自己紹介

大塚 敬(おおつか たかし)

◇経歴 早稲田大学大学院理工学研究科修士課程(都市計画)修了

◇所属

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

自治体経営改革室長 兼 公共経営・地域政策部 主席研究員

(兼務)港区政策創造研究所 所長

(兼務)東海大学総合社会学研究所 研究員

◇主な担当業務 官公庁からの受託調査、コンサルティング

◇専門分野 自治体総合計画、行政経営、地域政策・国土政策

## はじめに(本日の講義の目標)

- ・総合計画は自治体の行政全体を統制する計画であり、その重要性は言うまでもありません。
- ・皆さんは、策定時においては案の審議の際に策定プロセスや内容の適切性を、また計画の運用時においてはその進行管理が適切に行われているかを、しっかりチェックしていただく役割が期待されています。
- ・この役割を適切に果たすためには、計画の策定や進行管理がどのような手順や手法で行われ、どのあたりにポイントや留意点があるのか、最新のトレンドとして踏まえるべき点にどのようなことがあるのかなどを把握していただく必要があります。
- ・本日は皆さまの今後のこうした取り組みの一助となることを目標としてお話をさせていただきます。

地方分権の文脈で

## 目次

|   |  |     |
|---|--|-----|
| 1 | 計画行政の意義と総合計画の位置づけ                              | 4   |
| 2 | 総合計画導入の経緯と現在までの変遷                              | 9   |
| 3 | 法による策定義務付けの廃止による影響                             | 20  |
| 4 | 総合計画の枠組み(計画の位置づけ・構成等)の動向                       | 31  |
| 5 | 一般的な策定プロセスと重視すべきポイント                           | 44  |
| 6 | 策定プロセスへの住民参加の手法                                | 61  |
| 7 | 特に留意すべき関連計画(地方創生、SDGs)                         | 78  |
| 8 | 自治体総合計画を取り巻く環境の変化<br><small>町・人・レゴ</small>     | 93  |
| 9 | 総合計画進行管理への取り組みの動向<br><small>マクロ動向のポイント</small> | 107 |

## はじめに(本日の講義の目標)

- ・行政評価は自治体における業務のPDCAサイクルを確立するツールとして、重要な役割を担っています。
- ・このため、皆さんには、執行部門が実施した自己評価結果や外部評価機関の指摘事項を的確に読み取り、決算や予算をはじめとする、議会で審議を通じたPDCAサイクルの充実にこれを活用していただくことが求められています。
- ・さらには、執行部門や外部評価機関が実施した行政評価自体の質を確認し、必要に応じてその改善を促すことも期待されています。
- ・この役割を適切に果たすためには、評価の仕組みと重視すべき考え方などを理解していただく必要があります。
- ・本日は皆さまの今後のこうした取り組みの一助となることを目標としてお話をさせていただきます。

## 目次

|  |     |
|--|-----|
| 1 地方公共団体における行政評価導入の経緯  | 4   |
| 2 地方公共団体における行政評価への取り組み状況                                     | 10  |
| 3 行政評価の一般的な枠組み   | 17  |
| 4 行政評価の一般的課題   | 30  |
| 5 EBPMへの取組みの要請と行政評価への影響                                      | 44  |
| 6 国の政策への対応における効果検証への要請<br>(まち・ひと・しごと創生総合戦略を例として)             | 66  |
| 7 適切な評価指標の設定と活用  | 70  |
| 8 評価に用いるデータの信頼性向上のためのポイント<br>(行政評価のために最低限知っておくべきデータリテラシーの基礎) | 93  |
| 9 評価指標の実績値の分析、評価の考え方   | 105 |
| (参考)行政評価シートの実例と見方  | 110 |

# 計画達成へ「要努力」46%

## 県総合戦略会議 コロナ影響く

県は13日、県版総合戦略(2020〜24年度)の進捗状況を評価する有識者会議を県庁で開いた。160のKPI(成果指標)のうち、達成に向けて努力が必要」といふ指標は前年比7増の74となり、全体の46%を占めた。「要努力」とされたのは中心市街地の通行量や環境美化活動の参加者数といった指標で、県は



総合戦略の進捗をめぐり、状況について議論した有識者会議。県庁

新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいと分析している。

19年度に策定した総合戦略は、労働力不足への対応や地域の総合力アップといった基本目標に沿ってKPIを設定。最新数値を基にする評価は4区分で、全160指標のうち既に達成は11指標(6.9%)、「達成可能」は75指標(46.9%)、「要努力」は74指標(46.3%)、「達成困難」は0だった。「達成可能」が前年から13減った一方、「要努力」

は7増。中心市街地の1日当たりの歩行者通行量は1万898人(高岡市)で目標まで約7千人届いておらず、環境美化活動の年間参加者は2万4千人で10万人余り足りない。宿泊者数やアンケートショップ来店者など、観光関連は「要努力」が目立った。

蔵姫祐一副知事は「コロナの影響で、達成へかなり努力が必要な指標が出てきた」と述べ、コロナによる社会変化を考慮した指標設定が必要との認識を示した。

### 県版総合戦略の成果指標の評価

| 評価区分 | 20年度       | 21年度       |
|------|------------|------------|
| 既に達成 | 5 (3.1%)   | 11 (6.9%)  |
| 達成可能 | 88 (55.0%) | 75 (46.9%) |
| 要努力  | 67 (41.9%) | 74 (46.3%) |
| 達成困難 | 0          | 0          |

※この内は全体に占める割合

達成可能から「要努力」へ下がった主な指標と理由

| 主な指標       | 理由               |
|------------|------------------|
| 医薬品生産額     | 薬価引き下げ           |
| 県の中小企業販売額  | コロナで一部の商談会が中止    |
| 環境美化活動参加者数 | コロナで多くの清掃イベントが中止 |

令和4年10月21日

富山県議会  
酒井立志 様

### 受講セミナー確認書

(株)地方議会総合研究所  
代表取締役 廣瀬 和彦

(株)地方議会総合研究所主催セミナーへのお申込みありがとうございました。  
以下の内容で申込みを受け付けました。

内容に誤りがないかをご確認ください。誤りや申込み内容に変更がありましたら、弊社宛にFAX又はE-mailにて修正・変更内容のご連絡をお願いします。

#### 【申込みセミナー】

東京セミナー 10月24日(月)

地方公共団体における総合計画の最新動向と進行管理のポイント

地方公共団体における行政評価の最新動向と有効活用のポイント

合計受講料 25,000円(お一人様・2講座)

お申込者姓名：酒井立志 様

貴議会名：富山県議会

〒934-0093

住所 富山県高岡市姫野 921-18

TEL

FAX 0766-82-2510

#### 【受講料の事前振込みのお願いと振込みに係る注意事項】

セミナー当日に現金払いでお願い致します。尚、お釣りが無いようにご用意下さい。

#### 【請求書及び領収書】

請求書は原則として発行しておりませんが、発行をご希望の場合はFAX又はE-mailでご連絡いただければ発行いたします。

領収書につきましては、研修会当日に参加をお申込みいただいたお名前でお渡しさせていただきます。但し、お申し込みの際のお名前以外での記載をご希望の場合には、申込書の領収書宛名欄に記載をお願いいたします。



\* 総合計画の一般的課題

目標の明確化と実績、成果の透明性確保

- ・ 計画の実効性、実現性を確保するため、計画全体及び個別分野ごとの目標を明確にする必要がある。目標に対する計画の実績、成果を明確にする必要がある。
- ・ 計画の推進によりどの程度成果が得られ、目標にどの程度近づいたかを明らかにする必要がある。目標達成が困難な場合、施策や事業の改善方針を明確にし、これを確実に実行することが必要である。

計画策定プロセスのポイント

基礎調査：文献・統計データ分析

(1) 全国的な社会経済動向（マクロ動向）分析

(2) 地域の現状と課題（ミクロ動向）分析

マクロ動向とミクロ動向の両面から見た課題と可能性の分析 ~~分析~~

↓  
新しい国家戦略の方向性と地域の課題を踏じた実践的な取り組みの推進

\* ウィンビーイングについて

概ね同様の目的、枠組みにより取組によるワークショップを実施すること想定される。

LGBT SDGs コロナ

再生可能エネルギーの利用率  
カーボンニュートラル

調査研究・研修・広聴広報・要請陳情等 活動実績報告書

報告者 酒井 立志

|      |                                |                                    |   |
|------|--------------------------------|------------------------------------|---|
| 整理番号 | 1420                           | 使途項目                               | 01_調査研究費<br>01_調査研究費・02_研修費<br>03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費 |
| 活動期間 | 令和4年12月15日 から<br>令和4年12月16日 まで | 活動の概要                              | 文部科学省富山県人会出席<br><br>(備考)                            |
| 場所   | 全国町村会館                         | 全国町村会館において12月15日開催された文部科学省富山県人会に出席 |   |

| 経費の内容                 | 金額<br>(単位:円) | 経費の内容     | 金額<br>(単位:円) |
|-----------------------|--------------|-----------|--------------|
| 鉄道・バス 新高岡駅～ 東京駅～ 新高岡駅 | 27,460       | 宿泊料 12/15 | 9,800        |
| タクシー                  |              | 食事代       |              |
| 航空機                   |              | 会費        |              |
| 自家用車 @37円 × 21 km =   | 777          |           |              |
| リース車 @18円 × km =      | 0            |           |              |
| 有料道                   |              |           |              |
| 駐車場                   | 600          | 合計        | 38,637       |

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

**領 収 書**

酒井 立志 様

Receipt

領収年月日 2022.12.15

金額 ￥27,460 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets  
(00322 4枚)

西日本旅客鉄道株式会社  
新高岡駅  
新高岡駅F12発行 10323-01

納 定 済

印 紙 税 申 告

付 に つ き 大

税 務 署 承 認

**領 収 証**

高岡市宮新高岡駅立体駐車場  
高岡市下黒田3001  
TEL 0766-24-4252

入車日時 2022年12月15日 11時44分

出車日時 2022年12月16日 14時01分

No.02-000005 券No.02-139638

駐車料金 (JR認証) 600円

料金計 600円

投入現金 600円

釣銭額 0円

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 令和 4 年 12 月 26 日

決裁 令和 5 年 3 月 22 日

処理 令和 5 年 3 月 22 日

ご請求明細書  
Amount Description

全国町村会館  
TEL 03-3581-0471  
FAX 03-3580-0220

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

| 客室番号<br>Room No. | お名前<br>Name Of the Guest | 人数<br>Pers | ご利用日<br>Date            |
|------------------|--------------------------|------------|-------------------------|
| 1215             | Mr. 酒井立志<br>Ms. 様        | 1          | 22.12.15 - 22.12.16(1泊) |

| 日付<br>Date      | 摘要<br>Description | 料金<br>Charges | お支払<br>Payment | 備考<br>Remarks |
|-----------------|-------------------|---------------|----------------|---------------|
| 12.15           | インターネット素泊まりプラン    | 9,800         |                |               |
| 12.15           | 途中精算現金            |               | CA 9,800       |               |
| 小計<br>Sub Total |                   | 9,800         | 9,800          | /             |

(内消費税 Con.Tax ¥890)  
(標準税率 ¥9,800)  
(軽減税率 ¥0)

|                     |  |
|---------------------|--|
| ご請求額<br>Balance Due |  |
| ご返金額<br>Refund      |  |

誠に勝手ながらサービス料として、お勘定の10%及び規定の税金を加算させていただきます。

ご署名  
Signature

会社名  
Firm

発行No. 033510  
No. 202212150100  
発行日 2022.12.15  
05003 CA 1  
一般財団法人全国自治協会

(1/1)

領収書  
Receipt

No. 202212150100  
2022.12.15

酒井立志 様

¥9,800



上記正に領収致しました  
但、

(内消費税 Con.Tax ¥890)  
(標準税率 ¥9,800)  
(軽減税率 ¥0)

全国町村会館  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-35  
TEL 03-3581-0471 FAX 03-3580-0220

県外・海外政務活動報告書

自民党富山県議会議員会

会派・議員名

酒井 立志

|   |   |
|---|---|
| 整理番号  | 1420  |
| 活動名称  | 文部科学省富山県人会出席  |
| 目的  | 文部科学省富山県人会関係者が一堂に会し、新年度予算や富山県の諸課題について懇談、意見・情報交換を行う。     |
| 日程  | 令和4年12月15日(木)～ 令和4年12月16日(金)                            |
| 場所<br>〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕                               | 東京都千代田区永田町<br>全国町村会館                                    |
| 相手方等<br>〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕                            | 富山県選出 国会議員<br>文部科学省 関係者<br>富山県内 大学等関係者<br>富山県 議会、執行部関係者 |
| <p>行程・活動内容</p> <p>概要 別紙のとおり</p> <p>式次第、出席者 別紙のとおり</p> |   |

※日帰りの政務活動を含む。

12月15日19時より永田町の全国町村会館で文部科学省富山県人会が開催され、富山ゆかりの職員や富大関係者ら約60人が交流し、ふるさと富山の発展を願いました。

新田知事は令和5年5月のG7富山・金沢教育相会合に触れ「石川と両者の強みを生かして会合を成功させる。皆さんの支援をお願いしたい」と挨拶。

同県人会会長の岸本内閣参事官は「ふるさと富山を盛り上げるべく協力いただきたい」と挨拶。また、橘慶一郎代議士、堂故参議院議員が祝辞を述べ、斎藤富大学長の発声で乾杯しました。

私も挨拶の機会をいただきました。先日、勝興寺の国宝に触れ、立山黒部の世界遺産を目指すとともに、瑞龍寺と3か所の伝建築も併せて近世高岡の文化遺産群を力強く発信していきたい。また、県立大学の新学部、情報工学部の準備についても皆さんにご紹介し応援頂くようお願いしました。

また、様々な課題もあり、教員の働き方改革や教員の受験率低下等。さらに、いじめ、不登校、等についての意見を専門家の方々とも意見交換をさせていただきました。

議会からは、教育警務委員会澤崎副委員長とともに出席しました。

令和4年11月吉日



文部科学省富山県人会開催のご案内

文部科学省富山県人会長  
岸本 織江

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
さて、このたび「文部科学省富山県人会」を下記のとおり開催いたします。  
コロナ禍により近年は開催を見送らざるを得なかったところではございますが、  
久方ぶりに県ゆかりの皆様と富山の話題に花を咲かせることができると存じます。  
また、来年5月には富山県・石川県の共催で「G7教育大臣会合」が開催予定で  
ありますので、世界から注目を浴びるビッグイベントに向けて、気運をより高める  
機会となれば幸甚に存じます。

当日は、「変えていこう！新しい富山へ」をスローガンに日々ご活躍の新田知事をはじめ、  
県内外の関係者をご出席されますとともに、例年同様、富山県及び大学などから、  
地酒、ます寿司、かまぼこなどの県内ゆかりの名産品も豊富に準備いたしております。

ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、何卒ご出席くださいますようお願いいたします。

なお、当日のご出席の可否について、令和4年11月17日（木）までに下記連絡先のメール又はお電話、ファックスからご連絡いただきますようお願いいたします。

また、所属機関等に変更があった場合もご一報いただければ幸いです。

記

- 1 日 時 令和4年12月15日（木） 19:00 ～ 21:00
- 2 場 所 全国町村会館 ホール  
（東京都千代田区永田町1-11-35 / TEL 03-3581-0471）  
※立食形式ではなく、着席形式でのお食事となります。
- 3 会 費 補佐級以上 8,000円  
係長級 6,000円  
主任以下 4,000円

なお、遠方からお越し頂く場合には、会場となります全国町村会館をご宿泊先として是非ご検討を頂けましたら幸いです。

【連絡先】富山県首都圏本部 参納

TEL :03-5212-9030

Fax :03-5312-9029

E-mail: [REDACTED]

# 文部科学省 富山県人会

(令和四年十二月十五日(木) 全国町村会館ホール)

## 式次第

一 開会挨拶 (岸本 内閣官房内閣参事官)

文部科学省富山県人会長)

一 富山県知事挨拶

一 来場者挨拶

橘 衆議院議員

野上 参議院議員

堂故 参議院議員

一 富山大学学長挨拶

(乾杯) 齋藤 富山大学学長

(ご歓談)

(ご来場者挨拶)

酒井 富山県議会教育警務委員会委員長

福田 日本レスリング協会名誉会長

布村 元公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック  
競技大会組織委員会 理事・副事務総長

(大学等から近況報告)

(ご歓談)

一 閉会挨拶 (萩布教育長)

|  |                           |         |                     |  |
|--|---------------------------|---------|---------------------|--|
| 整理番号   | 142/                      | 事業概要*   | 県政報告書 Vol.19 印刷、発行代 |  |
| 使途項目*  | 03_広聴広報費                  |         |                     |  |
| 内容   | 酒井 立志 県政報告書 Vol.19 印刷、発行代 |         |                     |  |
| 上記事業に要した経費   | 経費の内容*                    | 金額(円)*  | 備考                  |  |
|  | 県政報告書 印刷、発行代              | 331,650 | }                   |  |
|  | ポスティング代                   | 292,123 | }                   |  |
|  | 写真撮影料                     | 13,200  | }                   |  |
|  |                           |         |                     |  |
|  | 《合計》*                     | 636,973 |                     |  |
| 《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。) |                           |         |                     |  |

3/30  
12/2

收受 令和 5 年 3 月 6 日  
 決裁 令和 5 年 3 月 22 日  
 処理 令和 5 年 3 月 22 日



6 自由民主党富山県議会議員会 酒井立志 様

請求書

平田印刷株式会社

代表取締役 平田 隆雄

〒933-0014

富山県高岡市野村1485番地

TEL:0766-23-0061 FAX:0766-25-8242

北陸銀行 高岡支店 当座預金 1006880



| 納品日        | 伝票番号 | 担当 |
|------------|------|----|
| 2023/01/31 | 5375 |    |

毎度お引立て有難うございます。下記の通りご請求申し上げます。

| 受注番号    | 品名/規格                | 数量        | 単位 | 単価     | 金額(税別)  | 立替金     |
|---------|----------------------|-----------|----|--------|---------|---------|
| 2306020 | 県政報告書 vol.19         | 22,500.00 | 部  | 13.400 | 301,500 |         |
| 2306021 | 県政報告書vol.19 ポスティング立替 |           |    |        |         | 292,123 |
| 2306021 | ※18,969部×@15.4       |           |    |        |         |         |
|         |                      |           |    |        |         |         |
|         |                      |           |    |        |         |         |
|         |                      |           |    |        |         |         |
|         |                      |           |    |        |         |         |
|         |                      |           |    |        |         |         |

|    |    |         |        |         |         |
|----|----|---------|--------|---------|---------|
| 摘要 | 合計 | 税別      | 消費税    | 立替金     | 総額      |
|    |    | 301,500 | 30,150 | 292,123 | 623,773 |

領 収 書

No. 004086

自由民主党 富山県議会議員会  
酒井立志 様

令和5年2月20日

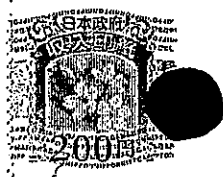
623,773.-

但し 県政報告書vol.19印刷代, ポスティング立替代

上記の金額正に領収いたしました

|   |       |          |
|---|-------|----------|
| 内 | 印刷物代金 | 301,500円 |
| 訳 | 消費税額  | 30,150円  |

ポスティング立替 292,123.-



平田印刷株式会社

本社・工場 高岡市野村1485番地

TEL 0766-23-0061 FAX 0766-25-8242



取扱者



令和5年2月28日

請求書

〒933-0014  
高岡市野村1485

平田印刷 株式会社 御中

株式会社 REGION

代表取締役 石山文夫  
〒939-1346 富山県砺波市狐島2丁目  
TEL 0763-55-6234 FAX 0763-55-6248

当月請求額 292,123 円

|       |              |
|-------|--------------|
| 【振込先】 | 北陸銀行 高岡支店    |
|       | 普通預金 6018140 |
|       | 高岡信用金庫 本店営業部 |
|       | 普通預金 0730872 |

※請求内容についてご不明な点がございましたら当社まで至急ご連絡ください。  
※振込手数料は御社負担となります。

| 年月日    | 内容                      | 校区 | 工別 | 枚数 | 数量     | 単価    | 金額      |
|--------|-------------------------|----|----|----|--------|-------|---------|
|        | 富山県議会議員 酒井立志様           |    |    |    |        |       |         |
| 2/4~24 | セグメントポスティング 軒並配布<br>高岡市 | 野村 |    | A3 | 4,945  | 14.00 | 69,230  |
|        |                         | 成美 |    | A3 | 3,407  | 14.00 | 47,698  |
|        |                         | 能町 |    | A3 | 4,417  | 14.00 | 61,838  |
|        |                         | 万葉 | 二上 | A3 | 977    | 17.00 | 16,609  |
|        |                         | 伏木 | 古府 | A3 | 1,955  | 17.00 | 33,235  |
|        |                         | 中田 |    | A3 | 1,410  | 17.00 | 23,970  |
|        |                         | 平米 |    | A3 | 1,362  | 14.00 | 19,068  |
|        |                         | 定塚 |    | A3 | 496    | 14.00 | 6,944   |
|        | 特別値引き 一式(万葉・伏木)         |    |    |    | 4,342  | -3.00 | -13,026 |
|        |                         |    |    |    | 18,969 |       |         |
|        |                         |    |    |    | 合計     |       | 265,566 |
|        |                         |    |    |    | 消費税10% |       | 26,557  |
|        |                         |    |    |    | 税込金額   |       | 292,123 |

2023年3月末までの入金をお願いします。

請求明細書

富山県議会議員

2022年12月05日

締切分 No.

00000556

酒井 立志 様

PAGE 1 / 1

930-0835 富山市上富居2丁目19-3

フォトニクス

TEL 076-451-7413

FAX 076-451-7418

お客様コード

北陸銀行 越前町支店

普通 4164400 フォトニクス 横井弘幸

下記の通り御請求申し上げます

| 前回御請求額 | 御入金額 | 繰越金額 | 今回御買上額 | 消費税   | 源泉徴収税額 | 今回御請求額 |
|--------|------|------|--------|-------|--------|--------|
|        | 0    | 0    | 13,200 | 1,200 |        | 13,200 |

| 日付/伝票番号                | 商品コード/商品名         | 数量 | 単位 | 単価     | 金額     |
|------------------------|-------------------|----|----|--------|--------|
| 2022/12/02<br>00000553 | 1402<br>本会議一般質問撮影 | 1  | 件  | 12,000 | 12,000 |
|                        | 令和4年11月定例会        |    |    |        |        |
|                        | 外消費税              |    |    |        | 1,200  |
|                        | 小計                |    |    |        | 13,200 |
|                        | 【税抜御買上額】          |    |    |        | 12,000 |
|                        | 【消費税額】            |    |    |        | 1,200  |

領収証

No. 00000560

2022年12月12日

酒井 立志 様

金額

¥13,200-

内

消費税等

¥1,200-

但 令和4年11月定例会 本会議一般質問撮影

上記正に領収いたしました

現金

930-0835 富山市上富居2丁目19-3

フォトニクス

横井 弘幸

TEL 076-451-7413 FAX 076-451-7418

保

富山県議会議員 さかいたつし

# 酒井立志

県政報告書

発行者 自由民主党富山県議会  
議員会 酒井立志

Vol. 19  
令和5年1月発行  
スクラム

## とやま呉西圏域 連携中枢都市圏の形成 環日本海の中核拠点へ

新年あけましておめでとうございます。皆様方には穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

県議会令和4年11月定例会は28日開会し、新田知事は提案理由説明で冒頭、知事就任から2年余が経過したことを挙げ、コロナ対策と社会経済活動の両立に力を入れたことや、物価高騰に取り組んだことを説明。「初心忘れず、県民目線、スピード重視、現場主義を徹底し、ワクワクすることがたくさんある富山県を目指す」と決意を示したうえで、一般会計予算案を含む56議案を提出しました。

新型コロナウイルスの感染再拡大や、インフルエンザとの同時流行に危機感を示し、同日からコロナの感染ステージを「感染警報」に引き上げたと報告し、県民に対策の徹底を呼びかけました。

インフルと同時流行した場合、県はピーク時の患者数は一日当たり計5600人と想定しています。知事は「コロナの入院病床の確保に努めるとともに、自宅療養者へのケアに万全を期す」と強調し、補正予算案では、希望する高齢者施設でのコロナの集中的検査や、感染者が発

生した介護サービス事業者で施設内療養を続けるための経費を盛り込んだと述べました。

来年5月の先進7ヶ国首脳会議に伴う教育相会議については12月1日に県委員会を設立することを紹介。教育力の高さや自然文化などの魅力をアピールし、石川県との共同開催による相乗効果を発揮できるよう準備を進めるとしました。

12月14日に本会議を再開し、最低賃金のさらなる引き上げや中小企業支援の拡充を求める意見書を原案通り可決し、賃上げを含む意見書4件や物価高騰、新型コロナウイルス感染対策を盛り込んだ今年度11月補正予算案など74件を可決して閉会しました。

私は本定例会において、①とやまの未来創生を深化させる取り組みについて、②安全・安心な暮らしの実現について合計15問、質問しました。その一部でありますが一読いただければ幸いです。

結びに、本年が皆様方にとりまして素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

富山県議会議員 酒井立志

1

質問

## とやまの未来創生を深化させる 取組みについて

**Q** 出生数の増加には、出産を希望しながら、妊娠に結びつかない夫婦に対し、不妊治療等の手厚い支援が重要であり、経済的理由から、第2子、第3子を持つことをためらう夫婦への支援、仕事と子育ての両立に向けた支援と、一貫した包括的支援が重要と考えるが、どのように取り組むのか、また、これらの県や市町村の支援策を支援が必要な人にしっかりと届ける必要があると考えるが、併せて所見を問う。

### A. 新田知事（子育て支援課）

出生数の増加には、子どもを生き育てやすい環境づくりが重要であり、妊娠から子育て期までの切れ目ない支援に取り組んでいくことが大切である。

そのため、県では、①特定不妊治療費助成や不妊に関する相談窓口の設置のほか、②子育て応援券の配布や乳幼児医療費の助成、第3子以降の保育料の原則無償化など、子育て家庭の経済的負担の軽減に取り組んでいる。また、③仕事と子育ての両立のため、県内企業に対し、専門コンサルタントによる伴走支援を行うほか、男性の育児休業取得の推進、病児・病後児保育の充実など、様々な施策を総合的に推進している。また、それらの情報が、必要となる子育て家庭等に届くよう、県のポータルサイトやSNS、イベントでの情報発信なども行っている。

さらに先般、国の総合対策において、全ての妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠時から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体的に行う「出産・子育て応援交付金」事業が創設された。県としても、こうした国の動きに対応するべく、準備を進めている。

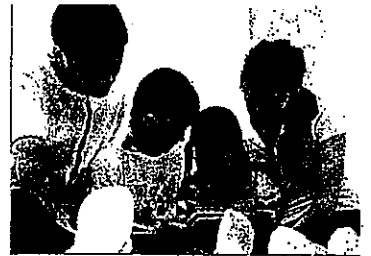
今後も、市町村と手を結び、必要な人に必要な支援が届くよう、こども政策を推進してまいりたい。



**Q** 令和3年の人口動態統計によれば、本県の出生数、婚姻件数ともに過去最少となったが、本県の婚姻件数の減少は、若い女性の転出超過が大きな要因と考える。若い女性に、本県で働きたい、子育てしたいと選んでもらうとともに、結婚を希望する男女への支援に、危機感を持って取り組むべきと考えるが、所見を問う。

### A. 新田知事（少子化対策・働き方改革推進課）

令和3年の本県の出生数と婚姻件数は、いずれも過去最少となったことから、この50年で本県の出生数は60%減ったことになる。この危機的



な状況に迅速かつこれまで以上に強力に対策を進めるべく、本年8月、県成長戦略会議に新たに「少子化対策・子育て支援専門部会」を設置し、協議している。婚姻件数減少の背景には、若年女性の転出超過による男女数の不均衡があり、議員ご指摘のように若い女性に、働く場、子育てする場として選ばれる県となり、若年女性の転入・定着を図る必要がある。

このため、県女性活躍推進戦略に基づき、企業内の意識改革や女性の意識・健康問題へのアプローチなど、女性が働きやすく活躍できる環境づくりを進める。また、女性の県外転出時期は、就職のタイミングが圧倒的に多いことから、中高生の時代からSNS等を活用して、女性が活躍している企業の情報を積極的に発信していく。加えて、女性活躍には男性の家庭参加が重要であり、9月補正予算にて新たに男性の育児休業取得を促進するため、事業主と取得者双方を支援する補助制度を創設した。

結婚を希望している方に対しては、とやまマリッジサポートセンター愛称アドアにおいて、スマホ等で会員情報を閲覧できるよう利便性向上を図っているが、7月から8月にかけて緊急的に入会半額キャンペーン等を実施したことなどにより、7、8月の登録者数が前年度比1.3倍に増え、今年度の成婚数も過去最高となる見込み。また、まだ結婚を強く意識していない方に対しては、若者同士が気軽に交流する機会を官民で提供するコミュニティであるトヤママッチを創設して、各人の状況に応じてきめ細かく支援していく。部会での議論も踏まえ、この危機的な状況を打破するため、県をあげて取り組んでまいりたい。

2  
質問

## 安全・安心な暮らしの実現について

Q 11月23日に、防災危機管理センターが開所して初となる原子力防災訓練が実施されたが、新たなシステムの有効性や、今回の訓練を通して各部署との連携においてハード面・ソフト面の改善点はなかったか、問う。

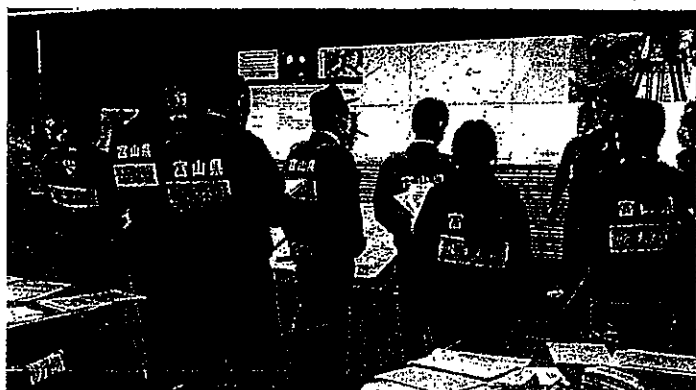
## A. 利川危機管理局長（防災・危機管理課）

先月23日に、石川県、氷見市等と共同で原子力防災訓練を実施したところであり、氷見市において避難退域時検査などの実動訓練を行ったほか、防災危機管理センターでは、災害対策本部の設置運営訓練を実施した。

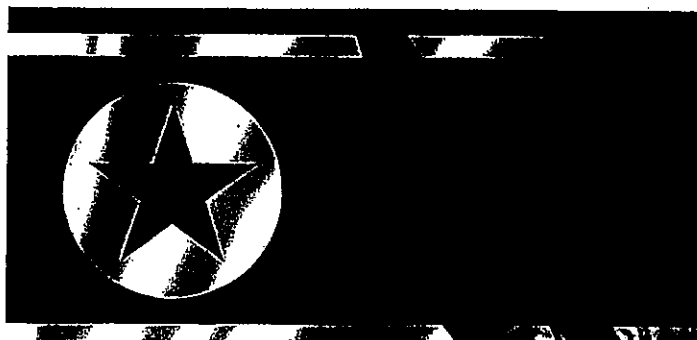
防災危機管理センターでの訓練では、①4階の災害対策本部で把握した情報を、映像情報システム等によりリアルタイムに5階の災害対策本部員会議室や関係機関と情報共有し、迅速適切な意思決定につなげる訓練や、②避難退域時検査や志賀オフサイトセンターなど現場の映像情報を災害対策本部に共有する訓練など、センターの機能をフル活用した訓練を行った。

訓練の評価者や参加者からは、4階の災害対策本部と5階の本部員会議室の連携・連動が非常に有効であったことや、大型ディスプレイや電子黒板により、関係機関が一目で被害情報が把握できるようになり、情報共有が非常にスムーズになったことなど、新たに整備した映像情報システムを高く評価いただいた。

一方で、本部員会議の大型ディスプレイにおいて、地図や文字の映像が見えづらいなどのご意見もいただいたことから、今後、映像がより見えやすくなるよう、画面の拡大・切り替えなどの操作の習熟を図るとともに、より有効な情報の収集・活用も含めて、運用面での改善を図ってまいります。



Q 最近、北朝鮮による弾道ミサイルの発射が頻りに行われているが、県民の命を守るため、北朝鮮ミサイル対応訓練の実施や県民への啓発など、十分な備えが必要と考えるが、どのように対応するのか。また、有事の際、県は国とどのように連携して対応するのか。



## A. 利川危機管理局長（防災・危機管理課）

北朝鮮ミサイルへの対応訓練については、去る9月に魚津市において、国と共同による「弾道ミサイルを想定した住民避難訓練」を実施した。弾道ミサイルを想定した訓練は、平成29年7月の高岡市での実施以来約5年ぶりである。訓練実施日の2日前には、参加者等を対象に勉強会を開催し、「国民への迅速な情報伝達」や「住民がとるべき弾道ミサイル落下時の行動」について丁寧に説明した。

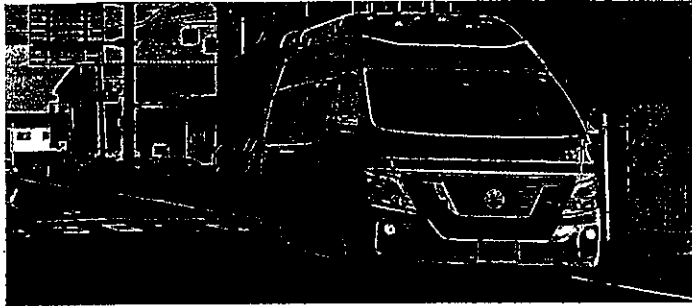
訓練の成果として、①国、魚津市、あいの風とやま鉄道などと協議し、情報伝達や避難誘導について実践的な訓練ができた。また、②住民避難訓練では、ミサイル発射情報伝達後3分以内に訓練参加者全員が警察官等の誘導により地下道へ避難することができた。③さらに、訓練には、報道機関と13名の県外参観者を合わせ計55名の訓練参観があり、魚津市のみならず広く県内外に啓発が図られた。

11月3日の北朝鮮の弾道ミサイル発射によって、新潟県等を対象にJアラートが発信されたが、その際には、県のHPやTwitterで弾道ミサイル落下時の行動について県民に改めて周知した。

有事の際には、県は、富山県国民保護計画に基づき、国と緊密に連携しつつ、住民の避難、救援及び武力攻撃災害の防除などについて国からの指示を受けて対応することとしている。今後とも弾道ミサイルの落下を想定した住民避難訓練の実施や県民の危機意識の向上などについての啓発に努めてまいります。



**Q** 消防庁では今年度、救急現場において、救急隊が搬送先医療機関の選定を行う際に、傷病者のマイナンバーカードを活用して搬送先医療機関の選定に関する情報を入手することにより、救急業務の迅速化や円滑化を図るための実証実験を実施しているが、本県及び各消防本部の対応状況と今後の方針について、問う。



## A. 利川危機管理局長（消防課）

消防庁では、救急業務の迅速化・円滑化に向けて、救急現場におけるマイナンバーカード活用の実証実験を全国6つの消防本部において実施している。

実証実験では、マイナンバーカードを用いた健康保険証のオンライン資格確認システムを活用することで、傷病者が過去に受診した医療機関名や既往歴、処方された薬剤等の情報を救急救命士が確認し、これらの情報を参考にして搬送先の医療機関を選定されている。

現状では、救急隊員がこれらの情報を口頭で確認しているが、病气や怪我で苦しむご本人や気が動転しているご家族の方から、正確な情報を聞き取ることが難しいケースもある。このため、マイナンバーカードを活用し、必要な情報を正確かつ速やかに把握することで、より迅速で円滑な救急活動を行うことができると期待されている。

実証実験は、今月までの予定で進められており、その後、消防庁が設置した「救急業務のあり方に関する検討会」において、事業効果や課題について検証も行われ、本格運用を見据えた検討を行い、来年3月に報告書がまとめられる予定となっている。

県としては、この報告書で示される内容を精査したうえで、各消防本部と連携して、今後の対応方針を検討してまいりたい。

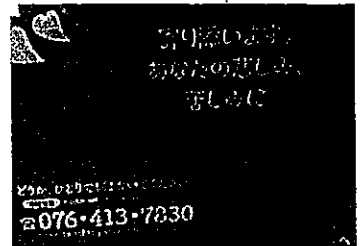
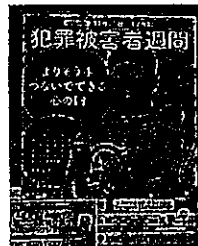
**Q** 県内すべての市町村において、犯罪被害者等支援条例の制定を目指すべきと考えるが、所見を問う。

## A. 横田副知事（県民生活課）

犯罪被害者支援については、犯罪被害者やその御家族の方々などが受けられた被害の早期回復及び軽減を図るため、社会全体で支えることが重要との認識のもと、県では、平成28年制定の富山県犯罪被害者等支援条例を策定し、富山県犯罪被害者等支援協議会を設置し、県及び市町村を含む関係機関が連携し、県内の各種被害相談窓口を示したパンフレットの作成・配布、市独自の奨学金支援などの県民への周知を実施している。

市町村における犯罪被害者等支援条例については、令和3年3月に策定された国の「第4次犯罪被害者等基本計画」で、警察からの条例制定に向けた検討等への支援が追加され、現在、全国で策定が進んでいる。県としても、犯罪被害者やその家族にとって最も身近な市町村が条例を制定し、犯罪被害者等への支援が充実されることが望ましいと考えている。6月にご質問いただいた以降も、市町村に対し、先進自治体の職員や専門家を招いた研修会等を実施し、条例制定を働きかけている。市町村からは「条例によらずとも既に犯罪被害者等支援の施策、体制がある」という意見もあるが、条例策定を検討しているところもある。

自ら声を上げられない被害者を考えると、県としては、引き続き条例策定の重要性について理解を深めていただくため、県警察と連携しながら、意見交換、情報提供を行い、市町村条例の制定の働きかけと支援をしてまいりたい。また、声を上げられない被害者に寄り添った対策として、犯罪被害を認知した県警察から市町村窓口を介して市町村の各種支援を受けることができる体制を構築してまいりたい。





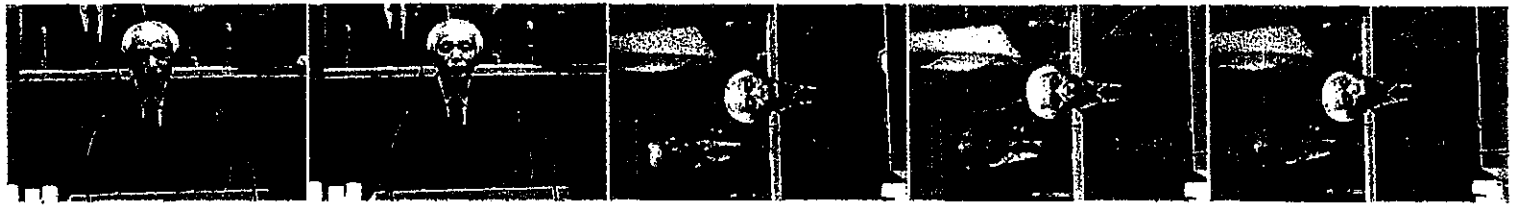
001

002

003

004

005



006

007

008

009

010



011

012

013

014

015



016

017

018

019

020



021

022

023

024

025



026

027

028

029

030



031

032

033

034

035